

# 第1章

人と人との絆を紡ぐまち



計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)							
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目								
						R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠													
111	市民部	山口市地域づくりセンター	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	事業への参加人数は目標を達成することができた。一方で、役員や参加者が固定化する傾向が見られる。	R5年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを									
			優先	自治事務	1,226千円	1,226千円	①地域住民の参加人数 ②所沢市地域づくり協議会活動支援交付金対象事業数	地域づくり支援事業への地域住民の参加人数	住民参加と協働による地域課題の解決ならびに安全・安心な地域づくりを進めるための事業を実施する。	R4目標					R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析							
			根拠法令	所沢市まちづくりセンター条例施行規則、所沢市地域づくり協議会活動支援交付金交付要綱	R5予算現額	R5決算額(見込み)																	
			事業の目的及び具体的な内容	事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	実績	12,000人	11,482人	R5目標					R5実績	R5目標値が未達成の理由・分析							
			人となりの絆を大切に、互いに支え合い助け合う地域づくりを推進するため、地域づくり協議会に対し、1年度あたり120万円を上限に地域づくり協議会活動支援交付金を交付するとともに、次の取組を行う。①山口市地域づくり協議会活動への支援②自治会・町内会等の地域コミュニティの支援③まちづくり活動の人材育成④地域の公共的団体の育成・支援⑤地域情報の提供⑥地域防災⑦地域住民の要望等の処理・連絡調整	1.60人	会年職員等	1.13人	①12,685人 ②11事業	12,000人	12,685人														
			期間	H29 ~	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合				R6目標					R6実績								
			12,803千円	0.4人	12,930千円	0.4人	12,000人																
			111	市民部	吾妻市地域づくりセンター	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名					指標名	目標設定の考え方・根拠		B	各公共的団体との連携強化に努め、地域住民に直接関係する公共工事関係は、所管担当職員から情報の提供や共有を図った。また課題解決や連携強化では令和5年度に「八国山DEボランティア」活動を行うことができた。地域づくり協議会の設立は、引き続き、地域の特性や歴史的背景、現在の各団体の活動状況等を尊重しながら、地域の意向を踏まえ、その役割や重要性について説明する機会を設けたい。さらに、昨年度は吾妻地区新春のつどいを4年振りに開催し、市長、議員をはじめ49団体103名の参加をいただき、情報交換や懇親を深めることができた。	R5年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを		
						優先	自治事務	65千円	57千円	①公共的団体の支援事業 ②地域づくり協議会活動支援交付金対象事業数 ③地域づくり協議会の設立に向けての会議開催数					地域づくり支援事業への地域住民の参加人数	地域コミュニティ、公共的団体等への支援及び地域づくり協議会設立を目標とする。	R4目標					R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析
						根拠法令	所沢市まちづくりセンター条例施行規則、所沢市地域づくり協議会活動支援交付金交付要綱	R5予算現額	R5決算額(見込み)														
事業の目的及び具体的な内容	事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費				R4その他職員従事割合	実績	17,200人	34,056人	R5目標	R5実績	R5目標値が未達成の理由・分析											
地域コミュニティの醸成を図るため、地域の意向を踏まえながら地域づくり協議会の設立に向けた支援を行うとともに、自治会・町内会等の地域コミュニティの支援や、地域づくりを担う人材の育成、まちづくりセンターにおける地域情報の発信などの地域づくりの支援に取り組む。	2.00人	会年職員等				0人	①66回 ②0回 ③0回	17,200人	33,498人														
期間	H29 ~	R5正規職員人件費				R5その他職員従事割合				R6目標	R6実績												
16,004千円	0人	16,162千円				0人	17,200人																
111	市民部	柳瀬市地域づくりセンター				実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	新たな事業の開催により、まちづくり協議会の活動がより活発になってきている。部会を構成する団体同士の情報共有が進んだことが、理由として考えられる。「やなまちマルシェ」には、まちづくり協議会が模擬店の出店を通して、地域の魅力を理解し、地域づくりの取り組みを実施することで、住民の交流の場を考える機会となった。	R5年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを						
						優先	自治事務	1,216千円	1,209千円	①地域住民の参加人数(支援事業の延べ参加人数) ②地域づくり協議会活動支援交付金対象事業数	地域づくり支援事業への地域住民の参加人数	協議会に係る事業数を基準として、住民参加・人と人との絆・支え合う地域づくりへの達成度を推し量るもの。	R4目標									R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析
						根拠法令	所沢市まちづくりセンター条例施行規則、所沢市地域づくり協議会活動支援交付金交付要綱	R5予算現額	R5決算額(見込み)														
			事業の目的及び具体的な内容	事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	実績	6,700人	645人	R5目標	R5実績	R5目標値が未達成の理由・分析											
			人となりの絆を大切に、互いに支え合い助け合う地域づくりを推進するため、地域づくり協議会に対し、1年度あたり120万円を上限に、地域づくり協議会活動支援交付金を交付するとともに、次の取組を行う。①地域づくり協議会活動への支援②自治会・町内会等の地域コミュニティの支援③まちづくり活動の人材育成④地域の公共的団体の育成・支援⑤地域情報の提供⑥地域防災⑦地域住民の要望等の処理・連絡調整	1.30人	会年職員等	0.4人	①940人 ②8事業	6,800人	940人														
			期間	H29 ~	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合				R6目標	R6実績												
			10,403千円	0.4人	10,101千円	0.4人	6,900人																



計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)		
					会計	投入コスト		活動実績(R5)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目		
						R4予算現額	R4決算額		項目名	指標名					目標設定の考え方・根拠	
111	市民部	所沢まちづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	B	「防災連携体制整備事業」において、昨年度作成した「災害時安否確認キット」の配布を本格的に行い、町内会加入者への配布を完了した。総合防災訓練では、可能な範囲で「安否確認キット」を活用し、より実践的な安否確認訓練を実施することができた。	R5年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを			
			優先	自治事務	1,210千円	1,210千円	①支援事業への地域住民の参加人数	地域づくり支援事業への地域住民の参加人数	地域づくりを推進するために、地域組織の活性化を図ることを目的として、公共的団体の実施する事業への地域住民の参加人数を指標とする。			令和5年度の新規事業として「健康推進事業」を実施し、地域住民の日頃からの健康推進を図るため、各町内会単位で血圧計の配布を行った。	16 平和と公正をすべての人に			
			根拠法令	事業の目的及び具体的な内容	R5予算現額	R5決算額(見込み)	②地域づくり協議会活動支援交付金交付対象事業数					R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	
			所沢市まちづくりセンター条例施行規則、所沢市地域づくり協議会活動支援交付金交付要綱	人と人との絆を大切にし、互いに支え合い助け合う地域づくりを推進するため、地域づくり協議会等地域団体の支援を行うとともに、次の取組を行う。 ①地域づくり協議会の活動への支援②自治会・町内会等の地域コミュニティの支援③まちづくり活動の人材育成④地域の公共的団体の育成・支援⑤地域情報の提供⑥地域防災⑦地域住民の要望等の処理・連絡調整	1,210千円	1,210千円									地区内の少子高齢化、高層ビル化や近所づきあいの疎遠化、核家族化に伴い、地域団体の役員の成り手不足や地域コミュニティの希薄化が顕著である。今後も、多世代交流の場を積極的に創出することで、地域づくり協議会の中心母体である町内会への加入の契機となるよう努めていく。	どのように貢献したか
			期間		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	実績	21,450人	18,587人							
			H29 ~		1.50人	会年職員等 0人										
					12,003千円											
					R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	①20,395人	21,500人	20,395人							
					1.00人	会年職員等 0人	②6事業	21,550人								
					8,081千円											
111	市民部	並木まちづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	B	並木まちづくり協議会として、学校菜園プロジェクトや健康づくり講座の実施、スポーツ事業、ハロウィンイベント等を後援、所沢中央高校と連携した事業の実施を通して、地域活性化が図られた。	R5年度に改善した点	3 すべてのの人に健康と福祉を			
			優先	自治事務	1,200千円	1,200千円	①地域づくり協議会活動支援交付金交付の対象事業	地域づくり支援事業への地域住民の参加人数	多くの地域住民が参加できる等、地域コミュニティの活性化の一助となる事業を行う。							11 住み続けられるまちづくりを
			根拠法令	事業の目的及び具体的な内容	R5予算現額	R5決算額(見込み)	②地域づくり支援事業への地域住民の参加人数					R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	
			所沢市まちづくりセンター条例施行規則、所沢市地域づくり協議会活動支援交付金交付要綱	人と人との絆を大切にし、互いに支え合い助け合う地域づくりを推進するため、地域づくり協議会に対し、1年度当たり120万円を上限に、地域づくり協議会活動支援交付金を交付するとともに、次の取組を行う。 ①地域づくり協議会活動への支援②自治会・町内会等の地域コミュニティの支援③まちづくり活動の人材育成 ④地域の公共的団体の育成・支援⑤地域情報の提供 ⑥地域防災⑦地域住民の要望等の処理・連絡調整	1,200千円	1,200千円									「見える化シート」により地域の住民と共に課題を共有することができたが、なかなか具体的な事業の実施まで至っていない。今後、解決策を見出すことで住みやすい地域づくりに繋げていき、自主的な活動が推進できるよう組織を整えていきたい。	どのように貢献したか
			期間		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	実績	8,300人	5,843人							
			H29 ~		1.37人	会年職員等 0.4人										
					10,963千円											
					R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	①26事業	8,300人	5,750人							
					1.37人	会年職員等 0.4人	②5,750人	8,300人								
					11,071千円											
111	市民部	防犯交通安全課	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	条例の目的を達成するために市職員による巡回指導を行った結果、過年度と比較して市長への手紙の件数が減少した。今後もこの効果を維持するために活動を継続していく。	R5年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを			
			優先	自治事務	22,000千円	21,945千円	①口頭指導件数	市長への手紙に寄せられた、プロペ通りにおける客引き行為等に関する苦情の件数	客引き行為等で通行の支障や迷惑を被り、また、恐怖を感じるなどした市民等が市へ意見を伝える手段の一つとして市長への手紙があることから、この件数を指標とする。							
			根拠法令	事業の目的及び具体的な内容	R5予算現額	R5決算額(見込み)	②書面指導件数					R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	
			所沢市客引き行為等の禁止に関する条例	客引き行為等を禁止することで、市民等が安心して通行することができる快適な環境を確保するとともに、健全な事業活動の発展に寄与することを目的とする。 ①市職員による巡回警備・指導を行う。 ②事業者や市民等に対して、条例の目的や禁止行為等を広く周知啓発する。	3,103千円	2,763千円	③勧告件数								路上での客引き行為等に対する巡回指導を継続するとともに、引き続き所沢警察署、プロペ商店街振興組合とともに啓発活動を実施し、通行人に対して客引きについていかないよう呼びかける。	どのように貢献したか
			期間		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	実績	6	1							
			R2 ~		1.20人	会年職員等 0人										
					9,602千円											
					R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	①150件	2	0							
					1.20人	会年職員等 1人	②0件									
					9,697千円		③0件	0								

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)					
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目						
						R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠											
112	市民部	地域づくり推進課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	①自治会・町内会応援団(派遣のべ人数・派遣会場) ②加入促進パンフレット付属のはがき、電話等での自治会問い合わせ件数	自治会加入世帯数	自治会・町内会への加入と参加の促進及び活動を支援することで得られる結果が自治会加入世帯	R5目標値が未達成の理由・分析	B	自治会町内会は、地域の課題解決に取り組むと同時に、住民の住みよき暮らしやまちづくりのために重要な役割を担っている。自治連合会との協力(共催含む)による様々な事業を実施しているが、加入率の増加には繋がることができなかった。引き続き、転入者や転居者へ不動産事業者の協力による働きかけのほか、自治会・町内会の重要性の周知に努める。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を						
			優先	自治事務		59,701千円	56,574千円							R5予算現額		R5決算額(見込み)	R4目標	R4実績	R5目標	R5実績	R5年度に改善した点
			根拠法令	自治会等応援事業		59,447千円	57,584千円							R4正規職員人件費		R4その他職員従事割合	R5目標	R5実績	R5目標	R5実績	所沢市自治連合会との共催で加入促進ポスター展、市民フェスティバルへの参加、自治会の活動報告会の実施、「自治会・町内会応援団」を結成し夏祭りへの参加等、工夫をしながら活動を実施した。
			事業の目的及び具体的な内容	安心して快適に暮らせる地域社会を実現するために、地域で重要な役割を担う自治会等の活動支援や、報奨金の交付を行うとともに、地域住民の自治会等への加入と参加を促進するために、自治会等の活動のPR、転入者への働きかけなどを行う。		1.10人	1人							R4目標		R4実績	R5目標	R5実績	R5目標	R5実績	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
			期間	S56 ~		8,802千円	1人							R5目標		R5実績	R5目標	R5実績	R5目標	R5実績	加入率の分母となる市全体の世帯数は増加し続ける一方で、加入世帯が減少すると大幅に加入率が下がってしまう。引き続き、自治会・町内会の重要性について様々な機会を捉え幅広く浸透していくように周知に努めるとともに、地域の声を聞きながら、事業を継続する。
			期間	S56 ~		1.25人	1人							R5目標		R5実績	R5目標	R5実績	R5目標	R5実績	どのよう貢献したか
			期間	S56 ~		10,101千円	1人							R5目標		R5実績	R5目標	R5実績	R5目標	R5実績	自治会・町内会を支援することで、地域コミュニティの醸成に貢献した。
			期間	S56 ~		10,101千円	1人							R5目標		R5実績	R5目標	R5実績	R5目標	R5実績	どのよう貢献したか
			期間	S56 ~		10,101千円	1人							R5目標		R5実績	R5目標	R5実績	R5目標	R5実績	どのよう貢献したか
			期間	S56 ~		10,101千円	1人							R5目標		R5実績	R5目標	R5実績	R5目標	R5実績	どのよう貢献したか
112	市民部	地域づくり推進課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	①集会施設建設事業(※増改築を含む) ②集会施設修繕事業 ③集会施設緊急修繕事業	補助対象事業数	支援希望のある修繕に対し、計画的に対応するため、補助対象事業数を目標とした。	R5目標値が未達成の理由・分析	A	修繕の相談から実施までに年数がかかるという課題はあるが、潤沢とは言えない自治会・町内会の予算規模では、集会施設の建設・修繕に対する補助への要望が多い状況である。修繕について令和5年度は、新築の1件を含め概ね計画どおり実施できた。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を						
			優先	自治事務		10,500千円	9,317千円							R5予算現額		R5決算額(見込み)	R4目標	R4実績	R5目標	R5実績	建設や修繕等に関する相談が多数寄せられていることから、各集会施設の現状を確認するとともに、各自治会・町内会の準備状況や緊急性、重要性などを踏まえて、柔軟に対応出来た。
			根拠法令	コミュニティ活動推進事業		16,500千円	15,106千円							R4目標		R4実績	R5目標	R5実績	R5目標	R5実績	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
			事業の目的及び具体的な内容	地域住民の心のふれあいや交流の場、活動の拠点となる集会施設の建設や修繕などに補助金の交付を行い、整備された集会施設により、これまで以上に地域が一体となり、安全で安心して住み続けることができるまちづくり、地域課題の把握や解決、自主的なコミュニティ活動を活発に目指す。		0.28人	1人							R4目標		R4実績	R5目標	R5実績	R5目標	R5実績	どのよう貢献したか
			期間	H3 ~		2,241千円	1人							R4目標		R4実績	R5目標	R5実績	R5目標	R5実績	自治会・町内会施設の老朽化に伴い多くの自治会・町内会より相談を受けることが多くなった。近隣市町村や他自治体の事例などを参考に助成方法について研究していく。
			期間	H3 ~		0.35人	1人							R4目標		R4実績	R5目標	R5実績	R5目標	R5実績	どのよう貢献したか
			期間	H3 ~		2,828千円	1人							R4目標		R4実績	R5目標	R5実績	R5目標	R5実績	地域活動の拠点整備を通して、地域コミュニティの醸成と住みやすい環境整備へ貢献した。
			期間	H3 ~		2,828千円	1人							R4目標		R4実績	R5目標	R5実績	R5目標	R5実績	どのよう貢献したか
			期間	H3 ~		2,828千円	1人							R4目標		R4実績	R5目標	R5実績	R5目標	R5実績	どのよう貢献したか
			期間	H3 ~		2,828千円	1人							R4目標		R4実績	R5目標	R5実績	R5目標	R5実績	どのよう貢献したか
112	市民部	地域づくり推進課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	①実行委員数 ②参加団体数 ③来場者数	来場者数	市民フェスティバルは、市民の心のふれあいや連帯感を高めること、所沢の魅力を発信することを目的としている。指標は過去の開催の来場者数をもとに算出している。	R5目標値が未達成の理由・分析	A	会場内の仮設物の設営・会場内外の車両誘導や夜間警備・ごみや尿の収集・運搬については業務委託を行なった。また、遺失物の対応や出店者の火気取り扱いに関する査察などの運営について警察・消防などに協力を得た。これらにより来場者の安全確保に努めた結果、2日間で27万人の来場者を迎え、盛況のうちに終ることができた。	R5年度に改善した点	12 つくる責任 つかう責任						
			優先	自治事務		5,425千円	5,255千円							R5予算現額		R5決算額(見込み)	R4目標	R4実績	R5目標	R5実績	当日の運営や翌日の清掃活動、チラシのデザインなどについて、秋草学園短期大学、クラーク記念国際高等学校、わせがく夢育高等学校、所沢中央高等学校、所沢市少年サッカー連盟など市内の高校・大学・団体と連携し、イベントを実施した。
			根拠法令	所沢市民フェスティバル開催支援事業		5,600千円	5,508千円							R4目標		R4実績	R5目標	R5実績	R5目標	R5実績	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
			事業の目的及び具体的な内容	所沢市最大級のイベントである市民フェスティバルは、実行委員会の運営により、来場者や出展者の心のふれあいやコミュニティの醸成を図るための場の提供により、所沢市の様々な魅力を発信する参加型イベントとして開催している。市は、その開催支援として運営費の一部を補助金として交付するとともに、実行委員会の事務局となり、事業の円滑な推進を図っている。それにより、市の関係部署、関係団体が多数参加するイベントとして、他に類を見ない事業に発展した。		2.10人	1人							R4目標		R4実績	R5目標	R5実績	R5目標	R5実績	どのよう貢献したか
			期間	S55 ~		16,804千円	1人							R4目標		R4実績	R5目標	R5実績	R5目標	R5実績	市民フェスティバルは、多数の団体が参加する市内最大級のイベントであるが、人件費の上昇や物価の高騰により財政的な課題を抱えている。事業継続のため、積み重ねてきたイベントの魅力を残しつつ、収入の確保、支出の削減について検討していく必要がある。これらの解決に向け、実行委員会等で検討を行っている。
			期間	S55 ~		2.15人	1人							R4目標		R4実績	R5目標	R5実績	R5目標	R5実績	どのよう貢献したか
			期間	S55 ~		17,374千円	1人							R4目標		R4実績	R5目標	R5実績	R5目標	R5実績	・プラスチックごみ削減のため、販売・頒布時のプラスチック・スプーン・フォーク・レジ袋などの使用を禁止した。 ・市内の学校・団体に当日ボランティアの協力を得た。
			期間	S55 ~		17,374千円	1人							R4目標		R4実績	R5目標	R5実績	R5目標	R5実績	どのよう貢献したか
			期間	S55 ~		17,374千円	1人							R4目標		R4実績	R5目標	R5実績	R5目標	R5実績	どのよう貢献したか
			期間	S55 ~		17,374千円	1人							R4目標		R4実績	R5目標	R5実績	R5目標	R5実績	どのよう貢献したか

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)								
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目									
						R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠														
113	市民部	地域づくり推進課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	市民活動支援センターの利用者数 ①ミーティングルーム等の設備の利用者数 ②主催事業の来場者数 ③市民活動支援講座の参加者数	市民活動支援センターの利用者数	市民活動の支援、促進を図ることが事業目的であることから、市民活動支援センターの利用者数を指標とした。	R5目標値が未達成の理由・分析	B	目標値は達成できなかったが、市民活動団体からのアイデアを受け、2大イベント(市民活動支援センターまつり、市民活動見本市)の名称を変更し、市民活動により親しみを持っていただけるよう工夫した。また、市民活動フェスタ2023については、当センターのホームページだけでなく、まちづくりセンターのInstagramや商業観光課のX、広報課のFacebookなども活用して、より幅広く情報周知を行った。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を									
			優先	自治事務		9,618千円	8,740千円							R5予算現額		R5決算額(見込み)	R4目標	R4実績	R5目標	R5実績	R5年度に改善した点			
			根拠法令	所沢市市民活動支援センター条例・所沢市市民活動総合補償制度取扱要綱ほか		8,869千円	8,485千円							R4正規職員人件費		R4その他職員従事割合	実績	3,610人	2,578人	3,640人		2,466人	市民活動支援センターまつりを「市民活動フェスタ2023」に、市民活動見本市を「市民活動フェア」に名称変更し、市民活動により親しみを持っていただけるよう工夫した。また、市民活動フェスタ2023については、当センターのホームページだけでなく、まちづくりセンターのInstagramや商業観光課のX、広報課のFacebookなども活用して、より幅広く情報周知を行った。	
			事業の目的及び具体的な内容	市民による自主的公益活動の支援、促進。主な活動は①ミーティングコーナー・印刷機等の貸出やパンフレット等の配架による情報提供による登録団体の支援②市民活動支援講座、登録団体との協働による事業の実施及び地縁型コミュニティとテーマ型コミュニティとの連携に向けた環境整備の促進③市民活動総合補償制度により市民の公益活動等における事故を補償④アダプト・プログラム制度の周知・啓発⑤市ホームページ、市民活動支援システム、季刊誌を通じて情報提供や周知・啓発		1.23人	2人							①1,286人		②1,066人	③114人	3,670人	2,466人	市民活動支援センターのミーティングコーナーの活用や印刷機の利用など、積極的に呼びかけたい。また、講座では新たに市民活動をスタートする人を支援できるような内容を開催し、所沢の市民活動が広がるような働きかけを引き続き行っていく。	17 パートナースhipで目標を達成しよう			
			期間	H21 ~		1.10人	2人							8,889千円		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績	3,610人	2,578人	3,640人	2,466人	市民活動支援センターのミーティングコーナーの活用や印刷機の利用など、積極的に呼びかけたい。また、講座では新たに市民活動をスタートする人を支援できるような内容を開催し、所沢の市民活動が広がるような働きかけを引き続き行っていく。	どのよう貢献したか
			期間	H21 ~		1.10人	2人							8,889千円		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績	3,610人	2,578人	3,640人	2,466人	市民活動支援センターのミーティングコーナーの活用や印刷機の利用など、積極的に呼びかけたい。また、講座では新たに市民活動をスタートする人を支援できるような内容を開催し、所沢の市民活動が広がるような働きかけを引き続き行っていく。	連絡会議や交流会、各種イベントで各団体の交流を深めてもらったことで、団体間でコラボした活動が行われた。
			期間	H21 ~		1.10人	2人							8,889千円		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績	3,610人	2,578人	3,640人	2,466人	市民活動支援センターのミーティングコーナーの活用や印刷機の利用など、積極的に呼びかけたい。また、講座では新たに市民活動をスタートする人を支援できるような内容を開催し、所沢の市民活動が広がるような働きかけを引き続き行っていく。	どのよう貢献したか
期間	H21 ~	1.10人	2人	8,889千円	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績	3,610人	2,578人	3,640人	2,466人	市民活動支援センターのミーティングコーナーの活用や印刷機の利用など、積極的に呼びかけたい。また、講座では新たに市民活動をスタートする人を支援できるような内容を開催し、所沢の市民活動が広がるような働きかけを引き続き行っていく。	どのよう貢献したか											
121	福祉部	地域福祉センター	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	①こどもと福祉の未来館利用者数	こどもと福祉の未来館利用者数	利用者の利便性・安全性に配慮した施設管理及び事業の実施が利用者数につながり、地域福祉活動の活性化に反映されるため、地域福祉の拠点として設置された当館の目標指標とするもの。	R5目標値が未達成の理由・分析	B	新型コロナウイルス感染症の影響が残るものの、利用者の利便性・安全性に配慮するとともに未来館の魅力向上を意識した管理運営を行った。	R5年度に改善した点	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに									
			優先	自治事務		111,925千円	103,824千円							R5予算現額		R5決算額(見込み)	R4目標	R4実績	R5目標	R5実績	R5年度に改善した点			
			根拠法令	こどもと福祉の未来館条例・所沢市地域福祉センター規則		118,556千円	102,357千円							R4正規職員人件費		R4その他職員従事割合	実績	121,000人	137,453人	160,020人		157,933人	思いやり駐車場として5区画を新設し、歩行困難者等の来館時の利便性の向上、併せて、福祉的な意識向上への貢献を行うことができた。	
			事業の目的及び具体的な内容	平成29年1月から供用を開始した当施設について、利用者の利便性・安全性に配慮した維持管理及び運営を実施するものとして、日常における清掃保守・設備点検・設備警備・貸出施設の管理運営、事業実施に伴う備品等の購入を行う。		1.53人	0.4人							①157,933人		121,000人	137,453人	160,020人	157,933人	令和5年5月下旬に新型コロナウイルス感染症にかかる各種利用制限を全廃したものの、利用控えの影響が残ったため目標値に届かなかったもの。	開館から7年を過ぎ館内の設備等の更新時期を迎えており、故障等への備えとして適切な時期に修繕等を行う必要が生じている。			
			期間	H28 ~		1.53人	0.6人							12,364千円		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績	121,000人	137,453人	160,020人	157,933人	省エネを意識しつつ適切な維持管理・運営を行い、持続可能な環境配慮を行った。	
			期間	H28 ~		1.53人	0.6人							12,364千円		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績	121,000人	137,453人	160,020人	157,933人	省エネを意識しつつ適切な維持管理・運営を行い、持続可能な環境配慮を行った。	
			期間	H28 ~		1.53人	0.6人							12,364千円		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績	121,000人	137,453人	160,020人	157,933人	省エネを意識しつつ適切な維持管理・運営を行い、持続可能な環境配慮を行った。	
期間	H28 ~	1.53人	0.6人	12,364千円	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績	121,000人	137,453人	160,020人	157,933人	省エネを意識しつつ適切な維持管理・運営を行い、持続可能な環境配慮を行った。												
122	福祉部	地域福祉センター	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	①年度当初補助対象職員 ②CSWによる総合的福祉相談支援件数 ③補助率(決算額)	社会福祉協議会の地域福祉活動計画In所沢(とこWITHプラン)の具体的な取り組みのR5目標値に対する達成率の平均値	具体的な取り組みの達成率(現状値÷目標値)の平均値	R5目標値が未達成の理由・分析	B	とこWITHプランの目標値に対する達成率の平均値は、前年より実績値が低下したが、依然として高い値となっている。CSWの活動については、アウトリーチの実施や制度のはざまでの公的支援につながらない世帯への支援等、地域福祉の推進において重要な取り組みといえる。	R5年度に改善した点	8 働きがいも経済成長も									
			優先	自治事務		80,000千円	80,000千円							R5予算現額		R5決算額(見込み)	R4目標	R4実績	R5目標	R5実績	相談支援体制の強化や、災害ボランティアセンター実地訓練の実施、情報発信の強化等を優先事項とし、「福祉のまちづくり」を推進すべく各種事業を展開した。			
			根拠法令	所沢市社会福祉協議会補助金交付要綱		80,000千円	80,000千円							R4正規職員人件費		R4その他職員従事割合	実績	100.0%	98.2%	100.0%		91.8%	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	
			事業の目的及び具体的な内容	社会福祉を目的とする事業の企画及び実施などを行うことにより、地域福祉の推進を図ることを目的として設立された社会福祉協議会の運営及び事業の推進を図るため。		0.20人	0人							①25人 ②2,145件 ③67.8%		100.0%	98.2%	100.0%	91.8%	一部の団体において、コロナ禍で活動休止した期間に高齢化率が進み、再開の目的が立っていない。	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み			
			期間	S43 ~		0.20人	0人							1,616千円		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績	100.0%	98.2%	100.0%	91.8%	社会福祉協議会の各種事業は、地域福祉の推進に欠かせないものである。そのため財政基盤の充実が必要であり、毎年市と社協の対話の場を設けて状況や課題の共有をし、適切な補助金交付に向けた調整を行う。	
			期間	S43 ~		0.20人	0人							1,616千円		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績	100.0%	98.2%	100.0%	91.8%	社会福祉協議会の各種事業は、地域福祉の推進に欠かせないものである。そのため財政基盤の充実が必要であり、毎年市と社協の対話の場を設けて状況や課題の共有をし、適切な補助金交付に向けた調整を行う。	
			期間	S43 ~		0.20人	0人							1,616千円		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績	100.0%	98.2%	100.0%	91.8%	社会福祉協議会の各種事業は、地域福祉の推進に欠かせないものである。そのため財政基盤の充実が必要であり、毎年市と社協の対話の場を設けて状況や課題の共有をし、適切な補助金交付に向けた調整を行う。	
期間	S43 ~	0.20人	0人	1,616千円	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績	100.0%	98.2%	100.0%	91.8%	社会福祉協議会の各種事業は、地域福祉の推進に欠かせないものである。そのため財政基盤の充実が必要であり、毎年市と社協の対話の場を設けて状況や課題の共有をし、適切な補助金交付に向けた調整を行う。												

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)							
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目							
						R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠												
123	福祉部	生活福祉課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	B	新型コロナウイルス感染症は第5類に移行したが、生活再建に時間を要する世帯は依然として多数存在しているため、生活困窮者に対し、その就労の状況、心身の状況、地域社会からの孤立の状況など様々な状況又はそれらの複合的な状況に応じて、所沢市社会福祉協議会と連携しながら、生活困窮者自立促進支援事業を実施した。また、生活困窮者の状況に応じて生活保護につなげるなど、生活保護制度を適切に実施し、生活困窮世帯の自立を支援した。	R5年度に改善した点	1 貧困をなくそう								
			最優先	自治事務		411,214千円	353,494千円	①自立相談支援事業延べ相談件数	相談件数、学習支援事業参加者数増加率 今年度(自立相談支援事業延べ相談件数+学習支援事業延べ参加者数)÷昨年度(自立相談支援事業延べ相談件数+学習支援事業延べ参加者数)	生活困窮者からの相談を幅広く受け付けることにより、生活保護に至る前に様々な相談支援を行い生活困窮者の自立促進を支援することが目的となっていることから、目標は相談件数、学習支援事業参加者数の増加とする。			R5目標		R5実績							
			根拠法令	生活困窮者自立支援法		R5予算現額	R5決算額(見込み)									②学習支援事業延べ参加者数	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析			
			生活困窮者自立促進支援事業	事業の目的及び具体的な内容		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	実績	100.0%	84.4%			新型コロナウイルス感染症流行による経済雇用状況悪化に対応した生活福祉資金特例貸付制度や、住居確保給付金の要件緩和が終了したことに伴い、相談者が減少したため。		R5目標	R5実績						
			生活保護に至る前の自立支援策の強化を図るため、生活困窮者に対し次の支援を行う。 ○自立相談支援事業 ○住居確保給付金 ○学習支援事業 ○家計改善支援事業 ○一時生活支援事業 ○就労準備支援事業	3.02人		会年職員等 2人	① 8,984	100.0%	69.2%													
			期間	1.99人		会年職員等 2人				R6目標							R6実績					
			H27 ~	16,081千円			② 379	100.0%														
			123	福祉部		地域福祉センター	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額			R4決算額		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	B	成年後見制度利用促進法及び国の利用促進計画により、市町村はより一層の周知・啓発活動に力を注ぐことが求められている。成年後見制度への関心が高まってきており、昨年度と比較し大幅に参加者が増加している。参加者の満足度も高く、引き続き制度の周知啓発のための取組みを努めていく。	R5年度に改善した点	1 貧困をなくそう	
							優先	自治事務		9,957千円			9,943千円		①周知啓発講演会参加者数	講演会参加者の理解度	研修会参加者アンケートにおいて、概ね半分以上理解できたという人÷回収数×100			R4目標		R4実績
							根拠法令	精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第51条の11の3、障害者総合支援法77条		R5予算現額			R5決算額(見込み)		② " 参加者理解者数							
成年後見制度推進事業	事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費			R4その他職員従事割合		③ " 参加者満足者数	100.0%		90.0%	目標値未達成ながら、R4実績(90.0%)から上昇しており、アンケートの意見でも「わかりやすかった」「制度への理解がより高まった」など評価が高かった。一方で、「質疑応答の時間が短かった」との意見もあり、疑問点を解消するに十分な時間が確保できなかったと考えられる。	R5目標	R5実績									
広く成年後見制度の周知啓発を行うとともに、所沢市成年後見制度推進検討委員会の意見をうかがいながら、法人後見活動開始の支援や、市民後見人養成に関する事業を実施する。	0.59人	会年職員等 0人			①29人		100.0%	96.5%														
期間	4,721千円				②27人					R6目標				R6実績								
H26 ~	4,768千円				③28人		100.0%															
131	福祉部	障害福祉課			実施計画ランク		事業の種類別	一般会計		R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	目標値を上回った。出前講座に参加した市民へ障害の理解や合理的配慮について学ぶ機会を確保することができた。	R5年度に改善した点			3 すべての人に健康と福祉を		
					最優先		自治事務			1,909千円	741千円	①出前講座の開催回数	出前講座の開催回数	条例に基づく社会づくりをすすめるためには、市民の障害理解を促進することが不可欠であり、有力な手段のひとつが出前講座である。市民の要望に応じて行う事業ではあるが、一定数の機会が確保されているか確認する必要があると考えるため指標に設定している。			R4目標					R4実績
					根拠法令		所沢市障害のある人もない人も共に生きる社会づくり条例外			R5予算現額	R5決算額(見込み)											
			所沢市障害のある人もない人も共に生きる社会づくり条例推進事業	事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	実績		5回	17回	目標達成済	R5目標	R5実績									
			「所沢市障害のある人もない人も共に生きる社会づくり条例」に基づき、社会的障壁の除去の推進を図るための総合的な取組として本事業を実施する。 ・出前講座、庁内研修の実施 ・あっせん調整委員会の設置 ・社会的障壁の除去推進事業補助金 ・文化芸術活動ワークショップの開催	1.30人	会年職員等 0.00人	①13回	5回		13回													
			期間	10,403千円		②4回				R6目標				R6実績								
			H30 ~	9,051千円			5回															

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	
						R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	R4目標	R4実績					R5目標値が未達成の理由・分析
132	福祉部	障害福祉課	実施計画ランク	事業の種別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	目標値は上回った。対象者のうち、制度利用の意向がある方に対して、おおむね制度利用のご案内ができているものと捉えている。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を		
			重要	自治事務	92,738千円	61,393千円	①タクシー使用料金補助認定者数 ②ガソリン費補助制度認定者数	対象者に占める認定者の割合 認定者(①+②)÷対象者数×100 (対象者数:令和6年3月末5,901人)	制度の対象者の中で、利用意向のある方が利用できるよう、適切な周知等の利用環境を確保する。	R5年度に改善した点						
			根拠法令	タクシ-等使用料金補助要綱、所沢市重度障害者等自動車ガソリン費補助要綱	R5予算現額	R5決算額(見込み)				93,849千円			66,844千円		R5目標値が未達成の理由・分析	11 住み続けられるまちづくりを
			事業の目的及び具体的な内容	重度心身障害者等の社会参加の促進と経済的負担の軽減を目的に、タクシ-使用料金及びガソリン費を補助する。 ○タクシ-使用料:利用者が使用したタクシ-券を基にタクシ-事業者より申請を受け、乗車料金分と手数料(1乗車につき100円)を支払う。 ○ガソリン費:月額上限3,000円又は1,500円を支払う。	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	1.48人	1.13人	R4実績	80.0%			80.1%		事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	
			期間	S51 ~	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	1.42人	1.13人	R5実績	80.0%			80.1%		引き続き、制度利用の意向がある方に対して適切に周知を行う。また、デジタル化などを通じて、事務効率の向上を目指す。	
			11,843千円	11,475千円	①2,458人	②2,271人	R6目標	80.0%	目標達成済	どのように貢献したか						
			11,843千円	11,475千円	①2,458人	②2,271人	R6実績	80.0%	目標達成済	障害者の移動の支援をすることにより、健康と福祉の増進に寄与することができた。						
			11,843千円	11,475千円	①2,458人	②2,271人	R6目標	80.0%	目標達成済	障害者の移動の支援をすることにより、健康と福祉の増進に寄与することができた。						
11,843千円	11,475千円	①2,458人	②2,271人	R6実績	80.0%	目標達成済	障害者の移動の支援をすることにより、健康と福祉の増進に寄与することができた。									
132	福祉部	障害福祉課	実施計画ランク	事業の種別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	目標値は上回った。様々な事業が含まれるが、総体としては、前年度以上の規模で実施できたことから、利用者の様々なニーズに対応できていると評価する。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を		
			重要	自治事務	283,890千円	263,010千円	①相談支援事業相談件数 ②手話通訳等派遣回数 ③移動支援事業利用人数	地域生活支援事業の対象事業に係る実績(決算)額 当該年度の実績額÷前年度の実績額×100	制度に含まれる様々な事業の総体としての評価を行う観点から、事業合計の実績額に着目し、前年度と比較し同等以上の規模で実施できたかを確認する。	R5年度に改善した点						
			根拠法令	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律	R5予算現額	R5決算額(見込み)				293,970千円			288,362千円		R5目標値が未達成の理由・分析	11 住み続けられるまちづくりを
			事業の目的及び具体的な内容	地域の特性や利用者の状況に応じた事業を実施する。 ○必須事業 成年後見制度利用支援、相談支援事業、意思疎通支援事業、移動支援事業外 ○日中一時支援事業、訪問入浴サービス事業外	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	2.12人	0.17人	R4実績	100.0%			101.0%		事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	
			期間	H18 ~	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	2.18人	0.17人	R5実績	100.0%			109.6%		どのように貢献したか	
			16,964千円	17,617千円	①16,713件	②868回	③209人	R6目標	100.0%	目標達成済			法改正の動向を注視しながら地域の特性や利用者の状況に応じた事業の適正な実施を図っていく。			
			16,964千円	17,617千円	①16,713件	②868回	③209人	R6実績	100.0%	目標達成済			障害者の自立した生活を支援することができた。			
			16,964千円	17,617千円	①16,713件	②868回	③209人	R6目標	100.0%	目標達成済			障害者の自立した生活を支援することができた。			
16,964千円	17,617千円	①16,713件	②868回	③209人	R6実績	100.0%	目標達成済	障害者の自立した生活を支援することができた。								
133	福祉部	障害福祉課	実施計画ランク	事業の種別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	目標値は上回った。対象者のうち、制度利用の意向がある方に対して、おおむね制度利用のご案内ができているものと捉えている。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を		
			重要	自治事務	485,640千円	446,103千円	①手当支給件数	認定者数÷対象等級手帳所持者数×100 (認定者数:令和6年3月末6,617人) (対象等級手帳所持者数:令和6年3月末9,087人)	制度の対象者の中で、利用意向のある方が利用できるよう、適切な周知等の利用環境を確保する。	R5年度に改善した点						
			根拠法令	所沢市重度心身障害福祉手当支給条例	R5予算現額	R5決算額(見込み)				485,712千円			443,875千円		R5目標値が未達成の理由・分析	11 住み続けられるまちづくりを
			事業の目的及び具体的な内容	重度の障害者に手当の支給を行うことで自立生活の促進を図る。障害程度に応じ、月額4,000円~9,000円の手当を支給する。所得(住民税の課税・非課税により判断)による支給制限がある。	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	1.13人	0.00人	R4実績	65.0%			74.6%		事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	
			期間	S49 ~	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	1.12人	0.00人	R5実績	65.0%			72.8%		どのように貢献したか	
			9,042千円	9,051千円	①20,945件	R6目標	65.0%	目標達成済	十分な周知を行うと共に、効率的な事務執行に努めるなど、継続して取り組んでいく。							
			9,042千円	9,051千円	①20,945件	R6実績	65.0%	目標達成済	障害者の自立した生活を促進することができた。							
			9,042千円	9,051千円	①20,945件	R6目標	65.0%	目標達成済	障害者の自立した生活を促進することができた。							
9,042千円	9,051千円	①20,945件	R6実績	65.0%	目標達成済	障害者の自立した生活を促進することができた。										

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)					
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目						
						R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠											
133	福祉部	障害福祉課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	障害福祉課長 一色 義直	R5年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを						
			重要	法定受託事務		5,362,312千円	5,148,767千円									①支給決定者数	利用率	制度の対象者の中で、利用意向のある方が利用できるよう、適切な周知等の利用環境を確保する。			
			根拠法令	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律		R5予算現額	R5決算額(見込み)												②利用者数	R4目標	R4実績
			事業の目的及び具体的な内容	障害者の日々の生活及び社会生活を総合的に支援するための法律		5,708,712千円	5,564,294千円									実績	85.0%	88.9%			
			期間	H18 ~		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合												3.44人	会年職員等	1.11人
						R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合									27,527千円			①10,344	85.0%	83.4%
																3.65人	会年職員等	1.11人	②8,628	R6目標	
				29,496千円				85.0%													
133	福祉部	障害福祉課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	障害福祉課長 一色 義直	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を						
			重要	自治事務		8,544千円	8,544千円									①施設利用者数	施設定員数に対する利用者の割合	利用状況について、定員数等の物理的な前提条件と比較して適正な水準にあるかを確認する。			
			根拠法令	所沢市障害者グループホーム条例 外		R5予算現額	R5決算額(見込み)												②延べ体験泊数	R4目標	R4実績
			事業の目的及び具体的な内容	所沢市障害者グループホーム条例 外		9,079千円	8,966千円									実績	100.0%	100.0%			
			期間	H5 ~		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合												0.34人	会年職員等	0.00人
						R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合									2,721千円			①7人	100.0%	100.0%
																0.45人	会年職員等	0.00人	②107日	R6目標	
				3,636千円				100.0%													
133	福祉部	障害福祉課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	障害福祉課長 一色 義直	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を						
			重要	自治事務		248,631千円	241,835千円									①施設利用者数	障害者通所施設の利用率(施設定員÷1日の利用者数)×100	市立の通所施設については、指定管理者の業務仕様書上で利用者の受入れにあたり1日の利用者数が施設定員の9割を超えるよう努めることとしており、当該割合を目標として設定したものである。			
			根拠法令	所沢市立障害者通所施設条例 外		R5予算現額	R5決算額(見込み)												R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析
			事業の目的及び具体的な内容	市内5施設を指定管理者制度により運営。○生活介護：常に介護が必要な障害者に、主として昼間において、入浴、排せつ又は食事の介護及び創作的活動又は生産活動の機会の提供等を行う。○就労継続支援：生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、その知識及び能力の向上のために必要な訓練を行う。		256,970千円	242,901千円									実績	90.0%	87.4%			
			期間	H8 ~		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合												0.47人	会年職員等	0.00人
						R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合									3,761千円			①204人	90.0%	84.9%
																0.65人	会年職員等	0.00人	R6目標		
				5,253千円				90.0%													



計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目
141	福祉部	高齢者支援課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	予定していた大会が実施できず、目標数に到達できなかったため。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を
			重要	自治事務		741千円	506千円							①スポーツ大会参加者 ②囲碁将棋大会参加者 ③演芸大会参加者	
			根拠法令	各種大会等開催要綱		R5予算現額	R5決算額(見込み)	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み				
			事業の目的及び具体的な内容	高齢者スポーツ大会等開催事業		0.26人	0.2人				R5目標			R5実績	
			期間	スポーツや文化交流等を通じて相互の親睦を深めることにより、生きがいを高めて健康増進を図る。各種運営委員会を設置しスポーツ大会や演芸大会、囲碁将棋大会などを開催する。		2,081千円	0.2人	R6目標	R6実績	R6目標値が未達成の理由・分析					
			S51 ~			0.18人	0.2人				R6目標			R6実績	
						1,455千円	0.2人	1,000人	1,000人	1,000人					
141	福祉部	高齢者支援課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	前年度より参加人数は減少したものの、講座内容を実際の地域活動につながることを強く意識したものにアップデートした結果、受講者の満足度も高くなり、目標に到達したため。また実際に民生委員として活動をはじめた受講者もあり、不足する地域の担い手の育成事業として今後も受講内容等の充実努める。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を
			重要	自治事務		586千円	202千円							①入学者数 ②修了者数	
			根拠法令	所沢シニア・アカデミー開催事業		R5予算現額	R5決算額(見込み)	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み				
			事業の目的及び具体的な内容	これまで開催していた高齢者大学では、高齢者の学習機会の提供と生きがいづくりを目的としていたが、知識や経験を活かした地域の担い手を増やす取り組みとして地域の担い手養成講座(シニア・アカデミー)へと変更した。地域活動への理解を深める講座や地域での活動団体との交流会を提供することで、地域の担い手としての意識を高め、具体的な活動へ踏み出すための支援を行う。		0.58人	0.05人				R5目標			R5実績	
			期間			4,641千円	0.15人	R6目標	R6実績	R6目標値が未達成の理由・分析					
			S52 ~			0.33人	0.15人				R6目標			R6実績	
						2,667千円	0.15人	①27人 ②26人	90.0%	70.0%					
141	福祉部	高齢者支援課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	感染症の拡大以前の利用者数には戻ってはいないが増加傾向にある。今年度については、とみおか荘の空調設備改修工事が閉館での実施となったことから、団体利用者数は減少となり、目標に到達しなかったため。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を
			重要	自治事務		269,149千円	258,476千円							①延利用者数(個人) ②延利用者数(団体)	
			根拠法令	所沢市立老人福祉センター設置及び管理条例、所沢市立老人憩の家設置及び管理条例、老人福祉法		R5予算現額	R5決算額(見込み)	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み				
			事業の目的及び具体的な内容	老人福祉センター等運営事業		326,592千円	312,796千円				R5目標			R5実績	
			期間	地域の高齢者の健康と生きがいの増進、教養の向上、介護予防の推進のため、レクリエーションの場を提供し、また、高齢者からの相談に応じ適切な援助を行う。		4.31人	11人	R6目標	R6実績	R6目標値が未達成の理由・分析					
			S56 ~			34,489千円	11.1人				R6目標			R6実績	
						4.74人	11.1人	① 75,087人 ② 90,047人	351,000人	165,134人					
		38,304千円	11.1人	352,000人	352,000人	352,000人									

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)				
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目				
						R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠									
141	福祉部	高齢者支援課	実施計画ランク	事業の種類別	特別会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	目標未達成のため。引き続き、アンケート回答率を上げるため、回答することのメリットについて内容を工夫する。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を				
			重要	自治事務		12,090千円	9,804千円												
			介護予防普及啓発事業	根拠法令		R5予算現額	R5決算額(見込み)	①アンケート送付数 ②アンケート回答数	アンケート回答率	R4目標 R4実績						R5目標値が未達成の理由・分析			
				介護保険法		13,128千円	10,061千円												
				事業の目的及び具体的な内容		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合												
			期間	H27 ~		高齢者の自立した生活を続けていくことに対する意欲を高め、より自発的な取組を推進するため、自宅で気軽にできる介護予防に関する情報や地域の介護予防教室等について普及啓発を行う。 「認知症アンケート(健幸のための「元気アップ大調査」)」を実施し、介護予防や認知症予防に関する正しい知識の普及啓発を行うとともに、社会参加のきっかけづくりを行う。	0.66人	会年職員等	0.3人	実績	70.0%					57.6%	回答者には、自身の介護予防に役立ていただくため、分析結果を基にしたアドバイス票を作成し送付しているが、回答することへのメリットについての理解が進んでいないことが未達成の要因と考えられる。今後、分かり易い表現に工夫した案内文としていく。		
							5,281千円	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		①30,381					R5目標			R5実績
							0.63人				会年職員等					0.15人			②16,539
							5,091千円									70.0%			
			141	福祉部		高齢者支援課	実施計画ランク	事業の種類別	特別会計	R4予算現額	R4決算額					項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	
重要	自治事務	6,608千円			5,258千円														
地域介護予防活動支援事業	根拠法令	R5予算現額			R5決算額(見込み)		①お達者倶楽部団体数 ②お達者倶楽部会員数	お達者倶楽部団体数		R4目標 R4実績		R5目標値が未達成の理由・分析							
	介護保険法	6,473千円			5,094千円														
	事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費			R4その他職員従事割合														
期間	H13 ~	高齢者に居場所を提供し、在宅の高齢者が閉じこもり・寝たきり・認知症にならないよう支援するために活動している地域のボランティア団体に助成金を支給する。市及び地域包括支援センターと連携して高齢者の介護予防を図るとともに、高齢者の地域との関わりを支援する。			1.36人		会年職員等	0.3人		実績	44団体	42団体	目標達成済						
					10,883千円		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合			①42団体	R5目標			R5実績				
					0.98人						会年職員等	0.6人			②861人	R6目標			
					7,919千円							42団体							
141	健康推進部	国民健康保険課			実施計画ランク		事業の種類別	一般会計		R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	対象者の増加に伴い、介入方法を増やすなど支援を充実させたが、目標の達成には至らなかった。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を
			最優先	自治事務	6,446千円	5,950千円													
			保健事業と介護予防の一体的実施事業	根拠法令	R5予算現額	R5決算額(見込み)	①ハイリスクアプローチ対象者数(健康状態不明者) ②介入した人数(健康状態不明者) ③ハイリスクアプローチ対象者数(高血圧未治療者) ④介入した人数(高血圧未治療者)		対象者への介入率(②/①、④/③)	R4目標 R4実績		R5目標値が未達成の理由・分析							
				高齢者の医療の確保に関する法律、国民健康保険法、介護保険法	6,947千円	6,044千円													
				事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合													
			期間	R3 ~	後期高齢者が抱えるフレイル(加齢に伴う虚弱)や認知症等の進行、社会的なつながりの低下といった課題に対応するため、保険者である埼玉県後期高齢者医療広域連合との連携の下、後期高齢者の保健事業と国民健康保険保健事業及び介護保険の地域支援事業を一体的に実施する。	2.19人	会年職員等		2人	実績	介入率80%	健康状態不明者 85% 高血圧未治療者 76.8%	R4の実績よりR5年の介入率は上がったが、目標値には至らず。介入率の目標値を高く設定してしすぎている可能性がある。						
						17,524千円	R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合		①117人	R5目標			R5実績				
						1.39人					会年職員等	2人			②109人				
						11,233千円						③337人			R6目標				
							④265人		介入率80%										



計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)		
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目			
						R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠								
142	福祉部	高齢者支援課	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標値を達成している。当事業の対象者は、主に一人暮らしの高齢者であり、訪問時には安易にお家には上がらないなど注意すべき点がいくつかあり、利用者、ボランティア間でトラブルにならないよう、引き続き研修をとおして、制度の適正な実施に努める。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を				
			重要	自治事務	2,520千円	2,072千円	①訪問依頼者延べ人数	定例会・研修会の開催回数	主にひとり暮らしの高齢者宅を訪問する事業であるが、対象者は生活面や健康面など様々な悩み・課題を抱えていることが多く、相談員の対応力が求められる。そのため、一般のボランティアである相談員の資質向上を図るための定例会・研修会の開催回数を目標値としている。	R5目標値が未達成の理由・分析			R5年度に改善した点					
			根拠法令	根拠法令	R5予算現額	R5決算額(見込み)	②訪問延べ件数								R4目標	R4実績	R5目標	R5実績
			所沢市高齢者みまもり相談員事業実施要綱	2,268千円	2,254千円	③定例会・研修会の開催回数												
			事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	実績	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み								
			近隣との交流や福祉サービスの利用機会が少ない高齢者等を対象に、希望者の自宅を定期的に訪問し(月2回程度)、安否確認を行うとともに、話し相手となることで、高齢者が安心して暮らせる環境を整備し、高齢者の福祉の増進を図ることを目的とする。	0.40人	0.1人	6回	6回											
			期間	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	①134人	R5目標	R5実績	目標達成済	どのように貢献したか								
H14 ~	3,201千円	0.15人	②2,526件	7回	7回		相談員が活動しやすくなるよう、マニュアルや引継ぎ書など、必要に応じて見直しをしていきたい。											
			③6回	R6目標			みまもりの機会が少ない高齢者の方が安心して暮らせる環境を整えることができた。											
			3,475千円	0.15人	6回		高齢者支援課長 溝井 光正											
142	福祉部	高齢者支援課	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	目標未達成のため。引き続き、必要の人に必要サービスを利用していただけよう周知に努める。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を				
			重要	自治事務	13,600千円	13,080千円	①支給者数	目標支給者数	昨年度の実績人数に応じて設定。	R5目標値が未達成の理由・分析			R5年度に改善した点					
			根拠法令	根拠法令	R5予算現額	R5決算額(見込み)	R4目標								R4実績	R5目標	R5実績	
			所沢市特定在宅高齢者介護手当支給要綱	13,800千円	12,720千円	322人	327人										広報の周知を行った。	
			事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	実績	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み								
			手当を支給し、ねたきりや認知症高齢者等を長期的に在宅介護する者の身体的・精神的負担を軽減することを目的とする。65歳以上で要介護認定を受け要介護4又は5の状態のねたきり老人等を常時介護している介護者に、年度に1回40,000円を申請により支給するものである。	0.27人	0.15人	322人	327人			どのように貢献したか								
			期間	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	①318人	R5目標	R5実績	広報やHP等にて周知を行っているが目標値を下回った。申請実績も減少しており、施設入所等により減少した可能性もあるが、引き続き、対象者となる方に情報が行き届くよう周知方法についても工夫し支援に努める。	金銭給付以外の重度の在宅介護者に対する負担軽減策を研究していく。								
H8 ~	2,161千円	0.2人	330人	330人			手当を支給することで、長期的に在宅介護する者の身体的・精神的負担の軽減に役立った。											
	0.23人	0.2人	330人	R6目標			高齢者支援課長 溝井 光正											
	1,859千円			330人														
142	福祉部	高齢者支援課	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標値を達成しているため。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を				
			優先	自治事務	740,362千円	548,644千円	①従前相当サービスの実施	通所型短期集中予防サービス利用者の、終了後の機能改善結果が「改善・向上・維持」であった割合	通所型短期集中予防サービスでは、3か月の期間のリハビリの結果を、「改善・向上・維持・悪化」で測る。本事業の目的が、高齢者が自立した生活を継続できることであり、利用者の運動器の維持・機能向上を測ることができる指標であるため。	R5目標値が未達成の理由・分析			R5年度に改善した点					
			根拠法令	根拠法令	R5予算現額	R5決算額(見込み)	②多様なサービスの実施								R4目標	R4実績	R5目標	R5実績
			介護保険法	772,863千円	582,566千円	70.0%	93.9%											
			事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	実績	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み								
			高齢者が自立した生活を継続するため、市町村が主体となって、これまでの介護予防訪問介護等に相当する専門的なサービスのほか、多様なサービス(通所型短期集中予防サービス)や、介護予防ケアマネジメントを実施する。	0.89人	0人	70.0%	93.9%			どのように貢献したか								
			期間	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	①従前相当サービスの安定的な運用に努めた	R5目標	R5実績	目標達成済	通所型短期集中予防サービスについて、地域包括支援センターや実施事業者と連携を図り、サービスの対象となる方を把握して適切にサービスにつなげる。								
H29 ~	7,122千円	0人	②通所型短期集中予防サービスの効果的な実施に努めた	70.0%	97.6%		介護予防サービスを提供し、高齢者の自立した生活の継続に資することができた。											
	0.88人	0人		R6目標			高齢者支援課長 溝井 光正											
	7,111千円			80.0%														

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)											
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目												
						R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠																	
142	福祉部	高齢者支援課	実施計画ランク	事業の種類別	特別会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	目標未達成のため。困難ケース対応を当会議にて専門職での意見交換により、対応のスキルアップやネットワークに繋がるものであり、引き続き当事業の的確な実施に努める。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を												
			優先	自治事務		411,840千円	411,840千円									①高齢者人口	市全体での個別事例の検討件数	地域ケア個別会議を開催することにより ●高齢者の個別課題解決に対する支援 ●ネットワークの構築 ●地域課題の発見 ●自立支援に資するケアマネージャーのケアマネジメントの実践力向上を図る。	11 住み続けられるまちづくりを								
			根拠法令	介護保険法		R5予算現額	R5決算額(見込み)													②総合相談件数	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析				
			地域包括支援センター運営事業	事業の目的及び具体的な内容		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合									実績	R5目標	R5実績	年間24回の会議開催において各回5事例の検討を予定しているが、事例発表者が罹患により急遽欠席するなどの要因により目標値を下回った。地域ケア個別会議は専門職等の出席を求めており、多忙な業務の中を1年前から日程調整して開催しているため別日に再設定することは難しい。								
				期間		H18 ~	0.90人													0人	120件	86件					
							7,202千円													0.05人	120件	114件					
							0.79人													0.05人	120件						
						6,384千円										①94,741人	②34,682件										
			142	福祉部		介護保険課	実施計画ランク									事業の種類別	特別会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		C	事前相談のあった事業所の施設整備となったため。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を
							-									自治事務		163,832千円	163,832千円								
根拠法令	所沢市高齢者福祉施設等整備費補助金交付要綱	R5予算現額			R5決算額(見込み)		②整備完了した事業所数	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析																	
高齢者福祉施設整備費補助事業	事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費			R4その他職員従事割合						実績	R5目標	R5実績	前年度に改修等の事前相談があった4事業所について、国へ補助金交付の事前協議を行ったところ、2事業所の内諾しか得られなかったため、4事業所の施設整備を完了させる目標を達成できなかった。													
	期間	H17 ~			0.24人		0人	4事業所	4事業所																		
					1,920千円		0人	4事業所	2事業所																		
					0.54人		0人	4事業所																			
		4,364千円					①4事業所	②2事業所																			
143	福祉部	高齢者支援課			実施計画ランク		事業の種類別	特別会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	目標未達成のため。地域資源は地域の団体や民間サービス等が主体となっており、地域ニーズと既存サービスのマッチングを促すことも当事業の目的の一つである。地域資源の数は地域の状況に影響を及ぼすものだが、今後、地域の力はますます必要となることから、引き続き事業の充実を努める。		R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を								
					優先		自治事務		58,720千円	58,655千円																	
			根拠法令	介護保険法	R5予算現額	R5決算額(見込み)	②第1層と第2層の情報共有の為の会議開催回数		R4目標	R4実績							R5目標値が未達成の理由・分析										
			生活支援体制整備事業	事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合														実績	R5目標	R5実績	社会資源としての団体の担い手の高齢化に伴い、解散が散見されている。				
				期間	H27 ~	1.50人	0人		849	840																	
						12,003千円	0人		863	845																	
						0.68人	0人		868																		
					5,495千円		①845		②6回																		

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	
						R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	R4目標					R4実績
144	福祉部	介護保険課	実施計画ランク	事業の種類別	特別会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	保険料未納者に対して督促、催告(文書、戸別訪問等)の滞納整理事務を行っているが、個別の事情による分納相談や、災害、収入減少などで一時的に支払うことが困難な方へ、徴収猶予や減免を行い、きめの細かい対応を行った。結果、前年度の収納率と同率となり、目標の収納率達成となった。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を		
			-	自治事務		25,819千円	23,944千円	①口座振替の推奨(加入率) ②督促・催告(件数) ③分納相談(人数)	保険料収納率(現年度)	介護保険の財源確保のため、65歳以上の方の保険料の収納率向上を目標とした。			R5年度に改善した点		11 住み続けられるまちづくりを	
			根拠法令	R5予算現額		R5決算額(見込み)	R4実績						R5実績		事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	
			介護保険法、所沢市介護保険条例	26,641千円		24,688千円	R5目標値が未達成の理由・分析						どのよう貢献したか			
			事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費		R4その他職員従事割合	実績	99.0%	99.16%	目標達成済			介護サービスの必要性や分かりやすい納付方法の案内に努め、また個別の状況に応じた納付相談を行い、被保険者の理解をいただくことが重要である。		安心して地域で住み続けられるように必要な介護サービスを利用いただくための財源確保に努めた。	
			平成12年4月1日、介護保険法が施行され、新たな社会保険制度として各市町村が保険者となり、介護保険制度が実施された。介護保険運営のための財源として、所沢市の65歳以上の被保険者の介護保険料を賦課徴収する。	R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合	①22.79%	99.0%	99.16%				R6目標		評価者	介護保険課長 中山 倫宏
				期間		4.44人	1人	②15,451件	99.0%							
				H12 ~		35,529千円	1人	③44人	99.0%							
144	福祉部	介護保険課	実施計画ランク	事業の種類別	特別会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	目標値を大きく超える結果となったが、受講者数自体は減少しているため、介護現場の人材確保に資するよう、受講者数を増やしていくことも必要である。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を		
			-	自治事務		1,000千円	706千円	①就業決定者数 ②受講者数 ③「この研修が役に立つ」と思った人の割合(思う・やや思うの選択者割合)	就業決定者数の割合(対受講者)	介護現場における人材不足により、市町村においても人材確保に関する取り組みの強化が求められている。一定割合の就業率を目指す指標とすることで、その達成のため、受講者数やその属性、またマッチング事業者選定など様々な構成要素の改善につながる。			R5年度に改善した点		4 質の高い教育をみんなに	
			根拠法令	R5予算現額		R5決算額(見込み)	R4実績						R5実績		事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	
			事業の目的及び具体的な内容	1,000千円		603千円	R5目標値が未達成の理由・分析						どのよう貢献したか			
			これまで介護との関わりがなかった者などの未経験者が、介護に関する基本的な知識を身につけるとともに、介護の業務に携わる上で知っておくべき基本的な技術を学ぶことができる入門的研修を実施することで、介護分野への参入のきっかけを作るとともに、介護業界で働くことの不安を払拭し、多様な人材の参入を促進する。	R4正規職員人件費		R4その他職員従事割合	実績	10.0%	5.3%	目標達成済			評価者		介護保険課長 中山 倫宏	
			期間	0.59人		0人	①4名	10.0%	36.4%							
			R3 ~	4,721千円		0人	②11名	15.0%								
				0.34人		0人	③約91%									
	2,748千円															
151	教育総務部	社会教育課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	市民の知識・技術を得る場や新たな仲間との出会いの場をつくる。また、現代的課題を学ぶ機会を提供し、学習成果を地域活動等につなげていく人材の育成を図る事も目標としているため受講者数を指標とした。※ R5実績からは市民大学受講者数を含む	R5年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに		
			重要	自治事務		4,007千円	3,610千円	①講座実施数	受講者数	市民の知識・技術を得る場や新たな仲間との出会いの場をつくる。また、現代的課題を学ぶ機会を提供し、学習成果を地域活動等につなげていく人材の育成を図る事も目標としているため受講者数を指標とした。※ R5実績からは市民大学受講者数を含む			R5年度に改善した点		秋草学園短期大学や県立所沢高校など生涯学習推進センター以外の場で市民向けの学習講座を行った。	
			根拠法令	R5予算現額		R5決算額(見込み)	R4実績						R5実績		事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	
			事業の目的及び具体的な内容	4,435千円		4,065千円	R5目標値が未達成の理由・分析						どのよう貢献したか			
			地域の人材育成を目的とし市民との協働で企画運営する通年制の「所沢市民大学」や、一般教養や現代的、社会的課題などを学ぶ「市民教養講座」、市民のキャリアアップを支援する「資格技能取得講座」等を開催する。学習機会の提供により、知識・技術を得るだけでなく新たな仲間との交流の場をつくる。また、学習した成果を地域の課題解消のために活用する。	R4正規職員人件費		R4その他職員従事割合	実績	1,450人	664人	目標達成済			社会教育課長 奥井 祥三			
			期間	3.00人		0.80人	①83回	1,450人	4,878人							
			H5 ~	24,006千円		0.90人		5,000人								
				1.99人												
	16,081千円															

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)		
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目		
						R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠							
151	教育総務部	社会教育課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	①会議開催数 ②主催事業開催数 ③主催事業参加者数	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析	C	役員の高齢化もあり事業数削減等の見直しを余儀なくされた。事業数は減ったがより充実した取り組みをすすめている。	R5年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに 11 住み続けられるまちづくりを		
			重要	自治事務		900千円	829千円							①13回 ②27回 ③1,114人		R5目標	R5実績
			根拠法令	生涯学習をすすめる所沢市民会議補助金		R5予算現額	R5決算額(見込み)									R6目標	
				生涯学習をすすめる所沢市民会議補助金		900千円	707千円										
				事業の目的及び具体的な内容		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合							実績		35回	38回
				第1次生涯学習推進計画に基づいて設置された市民が主体の「生涯学習をすすめる所沢市民会議」に対し財政的に支援することで、本市の生涯学習を市民の立場から推進できるよう支援する。		0.30人	0人										
			期間	H8 ~		2,401千円	0人										
						R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合										
		0.32人	0人														
		2,586千円	0人														
151	教育総務部	社会教育課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	①出前講座申請件数 ②人材バンク登録件数 ③人材バンク登録者紹介件数	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析	C	実施回数は減ったが出前講座の参加者は増加傾向にある。今後も市民に行政についての関心を高めるよう周知していく。	R5年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに		
			重要	自治事務		664千円	627千円							①41件 ②93件 ③39件		R5目標	R5実績
			根拠法令	生涯学習人材活用事業		R5予算現額	R5決算額(見込み)									R6目標	
				生涯学習をすすめる所沢市民会議補助金		440千円	412千円										
				事業の目的及び具体的な内容		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合							実績		100件	45件
				生涯学習まちづくり出前講座については、市の施策を市民に周知し、理解を得ると共に、市民と行政の協働によるまちづくりを進めることを目的として実施している。		0.89人	0.30人										
			期間	H11 ~		7,122千円	0.20人										
						R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合										
		0.58人	0.20人														
		4,687千円	0.20人														
151	教育総務部	社会教育課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	①相談実施回数 ②相談者数	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析	C	目標値には至らなかったが前年度と比較し、利用者が増加した。これからも多様なニーズに応えつつ相談員と随時情報交換しながら、事業の運営を図っていききたい。	R5年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに		
			重要	自治事務		454千円	434千円							①182回 ②472人		R5目標	R5実績
			根拠法令	IT相談事業		R5予算現額	R5決算額(見込み)									R6目標	
				IT相談事業		454千円	421千円										
				事業の目的及び具体的な内容		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合							実績		800人	459人
				市民のデジタルデバイド解消のため、パソコンの基礎的操作性の個別相談を定期的実施している。インターネット閲覧と電子メールの基本操作についての相談を主としているが、パソコンの設定やソフトの使い方等の相談にも対応している。		0.50人	0人										
			期間	H13 ~		4,001千円	0人										
						R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合										
		0.42人	0人														
		3,394千円	0人														



計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	
						R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠						
153	教育総務部	社会教育課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	市のPTA連合会は、各校のPTA間の連携強化に欠かせない存在で、地域の教育力向上に一定の成果を上げており、今後も活動支援を継続していく必要がある。	R5年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに	
			重要	自治事務		647千円	647千円							①所沢市PTA連合会の会報誌発行部数		所沢市PTA連合会加入小中学校数
			社会教育関係団体補助事業	根拠法令		R5予算現額	R5決算額(見込み)	②所沢市連合婦人会の活動回数	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析					
				社会教育法、所沢市PTA連合会補助金交付要綱、所沢市連合婦人会補助金交付要綱		647千円	647千円							R4正規職員人件費		R4その他職員従事割合
				事業の目的及び具体的な内容		0.30人	0.8人	実績	47校	45校	市内小中学校47校中、小学校2校は所沢市PTA連合会に加入していないが、それぞれ学校単独でPTA活動を行っている。連合会の活動が魅力ある活動となるよう事業等の見直しを行っているところであり、市内全小中学校のPTAが連合会に加入することを旨とする。					
				市内小中学校等の各単位PTAの相互交流・連携・情報交換や研修等を担う所沢市PTA連合会に対し、補助金を交付して活動を支援する。また、本市の生涯学習の推進・社会教育の振興及び男女共同参画等にも貢献する所沢市連合婦人会に対し、補助金を交付して活動を支援している。		2,401千円	0.9人							R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合
			期間	0.29人		0.9人	①48,600枚	47校	45校	評価者						
			S39 ~	2,343千円		47校	②52回	47校		社会教育課長 奥井 祥三						
153	教育総務部	社会教育課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	感染症対策のため開催を中止した事業等もあったため、成果目標の目標値は下回ったが、各学級の状況に応じた相談や情報提供を丁寧に行うことにより保護者の学習機会の確保に努めた。また、学習内容を工夫した結果、地域や学校、子どもの環境などの保護者に身近で関心の高い講座が増加した。今後も各学級の状況に合わせた支援により学びの機会の提供に努めていく。	R5年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに	
			優先	自治事務		3,062千円	3,017千円							①家庭教育学級の学級生数		1学級当たりの講座実施時間(時間)(令和6年度目標 講座総参加者数)
			家庭教育推進事業	根拠法令		R5予算現額	R5決算額(見込み)	②家庭教育学級の講座数	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析					
				教育基本法、社会教育法、家庭教育学級事業委託要綱		3,062千円	3,007千円							R4正規職員人件費		R4その他職員従事割合
				事業の目的及び具体的な内容		0.78人	1.8人	実績	18時間	13.18時間	R5目標値が未達成の理由・分析					
				各小中学校の運営委員会に家庭教育学級の運営を委託し、家庭教育等について学ぶ機会を保護者等に提供する。また、保護者が家庭での教育を見直し、子育ての不安を解消する等のきっかけとするために、就学時健診等の機会を利用した子育て講座の開催や、啓発リーフレットの作成・配布を行う。		6,242千円	1.8人							R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合
			期間	1.07人		1.8人	①2,763人	18時間	13.91時間	評価者						
			S39 ~	8,647千円		5,477人	②387講座	5,477人		社会教育課長 奥井 祥三						
③6,100枚																
153	教育総務部	社会教育課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	今回の二十歳のつどいを開催するにあたり、市のホームページへの公開と同時に、ホームページ上でアンケートを行い、また、案内状にも二次元バーコードを付し、対象者向けにアンケートを行った。会場や日程、開催方法等についての様々な意見が集約できた。今後の開催に生かせるよう、検討していきたい。	R5年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを	
			重要	自治事務		4,467千円	4,436千円							①出席者の合計人数		市全体の出席率(%)
			二十歳のつどい開催事業	根拠法令		R5予算現額	R5決算額(見込み)	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析	対象者や各地区の実行委員等を対象に、アンケートを行った。					
				国民の祝日に関する法律 二十歳のつどい実行委員会交付金交付要綱		4,463千円	4,447千円				R4正規職員人件費			R4その他職員従事割合		R5目標値が未達成の理由・分析
				事業の目的及び具体的な内容		0.48人	0人	実績	70.0%	65.6%						
				市内11地区で組織される実行委員会に交付金を配分し、二十歳の節目を迎えた青年の門出を祝福する。出席者に地域への愛着を抱いてもらえるよう、身近なまちづくりセンターを中心とした会場で、各地区の特色を活かしたつどいを実施する。		3,841千円	0人				R5正規職員人件費			R5その他職員従事割合		R6目標
			期間	0.48人		0人	①2,262人	70.0%	67.1%	評価者						
			S21 ~	3,879千円		70.0%				社会教育課長 奥井 祥三						

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)							
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目						
154	市民部	松井まちづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		C	成果指標は概ね達成している。今後とも児童・保護者などへの事業の参加拡充を図ると共に、それ以外の年齢層にもニーズに合った事業を充実させていきたい。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を						
			重要	自治事務		1,762千円	1,398千円	①年間アンケート実施事業数	参加者の満足度割合	参加者の満足度割合	参加者の満足度割合から、主催事業に対する満足度を向上させる。			R5目標		R5実績	シニア目線の社会教育のみに重点をおかず、子どもにも学校だけでない社会教育を受けるための環境づくりを提供した。(小学生のプログラミング教室、シリーズ星をみよう、わくわく冒険キャンプ、松井ファミリーコンサート等)また、快適な環境のなかで安心して学習できるスペースを提供した。	4 質の高い教育をみんなに			
			松井公民館主催事業	根拠法令		R5予算現額	R5決算額(見込み)	②アンケート回答件数											R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析
				社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例、所沢市立公民館設置及び管理条例施行規則		3,403千円	3,236千円	③「満足」及び「ある程度」満足した回答を得た件数													
				事業の目的及び具体的な内容		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	実績	100.0%	95.2%	アンケート結果については、概ね高評価を得ており成果指標は達成できていると思われる。これまで目標値を100.0%としてきたが、今年度より数値の見直しを行い95%に変更する。										
			市民の学習要求に基づき、実生活に即する教育、学術、文化に関する各種事業を実施することにより、教養の向上、健康増進、生活文化の振興、社会福祉の増進を目的とする。内容は次のとおり。 ①職員あるいは市民を交えた実行委員会等による事業の企画・立案、運営方法等を検討。 ②生涯学習情報紙及びまちづくりセンター広報紙、チラシ等を活用して参加者を募集。 ③事業終了後アンケート等を実施し、学習記録や参加者の意見、感想等を取りまとめ、次年度へ向け検討する。	0.60人		1人	①アンケート実施事業 10	R5目標	R5実績	R6目標											
			期間	4,801千円		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合				100.0%			95.2%		R6実績					
			S29 ~	0.60人		1人	③「満足」及び「ある程度」満足した回答を得た件数 319	95.0%													
				4,849千円																	
			154	市民部		松井まちづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額			項目名		指標名	目標設定の考え方・根拠		B	令和5年度中に施設内のトイレ手洗いをほぼ全部自動水栓に変更した。6年度については施設内がガラス張り日差しが多いため施設内の温暖化対策に重点を置く。そのためのロールスクリーンの設置を促進する。利用者が快適な空間とってもらえるような施設を目指していく。	R5年度に改善した点
-	自治事務	232,717千円			232,713千円		①年間利用可能区分数(公民館)	年間施設稼働率		年間利用区分数(公民館)	客観的に分かりやすい指標である。年間利用区分数/年間利用可能区分数×100	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析							
根拠法令	R5予算現額	R5決算額(見込み)			②年間利用区分数(公民館)																
社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例、所沢市立公民館設置及び管理条例施行規則、所沢市立公民館使用料減免取扱要綱	29,972千円	26,103千円			実績		50.0%	32.7%		年間を通して利用者が極端に少ない、茶道専用の茶室や料理講習室の施設稼働率が著しく低いいため全体の稼働率を下げる要因となっている。											
事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合			①19,471区分		R5目標	R5実績		R6目標											
活動するサークルや団体等により住民が各種学習活動の場として施設を提供することで、集い・学び合いながら知識・教養の向上を図り、生涯学習社会の構築を目指すことを目的とする。	0.70人	1.45人			②6,700区分						50.0%	34.4%									
期間	5,601千円	R5正規職員人件費			R5その他職員従事割合		50.0%														
S45 ~	0.70人	1.45人					50.0%														
	5,657千円																				
154	市民部	富岡まちづくりセンター			実施計画ランク		事業の種類別	一般会計		R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	事業数は変わらないが、前年度実績を上回ることができた。	R5年度に改善した点			3 すべての人に健康と福祉を
			重要	自治事務	4,498千円	4,293千円	①主催事業数(年間事業数)		参加者の満足度割合(「満足」及び「ある程度満足」と回答を得た件数÷アンケート回答件数×100)	参加者の満足度割合	各種の事業を行い、住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的としているため、「参加者の満足度割合」が高ければ、効果的な事業が遂行できていたと考える。	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析							
			根拠法令	R5予算現額	R5決算額(見込み)	②事業参加者のアンケート回答件数															
			社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例、所沢市立公民館設置及び管理条例施行規則	3,754千円	3,618千円	③アンケート結果の分析(「満足」及び「ある程度満足」と回答を得た件数)															
			事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	実績	100.0%		98.0%	開催事業数は前年と変わらないが、成果として「参加者の満足度割合」が向上した。すべての参加者が満足できる事業を目指しているため、目標値を「100%」と設定しており、99%の参加者に満足いただいたが、未達成となった。											
			実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もつて住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とし(社会教育法)、①職員による企画立案や市民を交えた企画準備委員会・実行委員会等を設置し、事業内容を検討。生涯学習情報紙及びまちづくりセンターだよりを活用して参加者を募集する。②事業終了後は、学習の記録や参加者の意見・感想等を取りまとめ、次年度に向けた検討材料とする。③体育館が併設されている特徴を活かし、健康体操教室や体育事業にも積極的に取り組んでいる。	0.76人	1.35人	①15事業	R5目標		R5実績	R6目標											
			期間	6,082千円	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合					100.0%	99.0%	R6実績								
			S31 ~	0.75人	1.35人	②218件	100.0%														
				6,061千円		③216件	100.0%														





計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	
						R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	R4目標					R4実績
154	市民部	吾妻まちづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	コロナ終息で公民館に以前と同様の活動形態が戻ってきたことにより、講座参加者等の満足度も昨年度を上回るものとなり、一定の成果を残すことができたと考えられる。今後も参加者のニーズや地域性を捉えながら、地域住民の仲間づくりにつながる学びの場や、生涯学習の機会を提供できるような事業を実施していく。	R5年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに		
			重要	自治事務		1,942千円	1,759千円	①主催事業数	参加者の満足度割合(%) (「満足」及び「ある程度満足」と回答を得た件数÷アンケート回答件数×100)	R5目標			R5実績		R5年度に改善した点	
			根拠法令	社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例、所沢市立公民館設置及び管理条例施行規則、所沢市まちづくり条例及び施行規則		R5予算現額	R5決算額(見込み)	②事業参加者に対する5段階評価アンケート回答数								R4目標
			事業の目的及び具体的な内容	市民の学習要求に基づき各種講座を展開し、市民の知識・教養の向上を図ると共に生涯学習社会の構築を目指す。職員の企画・立案、あるいは市民を交えた企画準備委員会等を設置し、事業内容を検討する。生涯学習情報紙等を利用して参加者を募集する。事業終了後は評価アンケートを実施し、次年度へ向けての検討材料とする。地域コミュニティ関連の事業を中心に講座、イベント等を開催する。		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	③アンケート結果の分析(満足と回答を得た件数)	R4目標	R4実績			R5目標値が未達成の理由・分析			
			期間	S30 ~		0.50人	0.7人	①23事業	100%	96%			100%		99%	100%
						4,001千円	0.7人	②706件	100%	96%			100%		99%	100%
						R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	③696件	100%	96%			100%		99%	100%
						0.50人	0.7人									
		4,041千円	0.7人													
154	市民部	吾妻まちづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	B	コロナが終息したことで、施設稼働率に若干の回復傾向がみられた。引き続き充実した講座・事業を開催していくことで、稼働率の向上を目指していく。また、施設の老朽化に直面しているが、今後も引き続き計画的に修繕を実施し、利用者の安全な環境を維持するよう努めながら、成果指標である稼働率を目標値に近づけられるよう努めていく。	R5年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに		
			-	自治事務		39,107千円	38,322千円	①年間利用可能区分数(公民館)	年間施設稼働率(公民館)(%) (年間延べ利用区分数÷年間利用可能区分数×100)	R4目標			R4実績		R5目標値が未達成の理由・分析	
			根拠法令	社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例、所沢市立公民館設置及び管理条例施行規則、所沢市まちづくり条例及び施行規則		R5予算現額	R5決算額(見込み)	②年間延べ利用区分数(公民館)								R4目標
			事業の目的及び具体的な内容	学習活動の場として施設を提供することにより、市民の知識・教養の向上を図り、生涯学習社会の構築を目指す。施設の利用申請は、公共施設案内・予約システムを導入し、インターネットの利用も可能となっている。利用予約の際は、特定の団体の独占を回避し、市民の利用拡大を図るため、一定の利用制限(時間制限)を設けている。		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	①35,820区分	80%	51%			80%		52%	
			期間	S46 ~		0.60人	3.1人	②18,700区分	80%	51%			80%		52%	
						4,801千円	3.1人									
						R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合									
						0.60人	3.1人									
		4,849千円	3.1人													
154	市民部	柳瀬まちづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	主催事業の各種講座については青少年、一般向けなど、新たな事業として実施ができたことは有意義であった。文化祭は開催方法を工夫し「もったいない市」と併せて「やなまちマルシェ」を行うなど、盛大に実施することができた。市民の公民館活動へ参加も増加してきたことで、職員間では、事業展開を検討し、様々な工夫を行い実施することができた。	R5年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに		
			重要	自治事務		332千円	220千円	①主催事業	参加者の満足割合	R4目標			R4実績		R5目標値が未達成の理由・分析	
			根拠法令	社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例、所沢市立公民館設置及び管理条例施行規則		R5予算現額	R5決算額(見込み)	②事業参加者に対するアンケートの実施の件数								R4目標
			事業の目的及び具体的な内容	①職員による事業の企画・立案、あるいは市民・公民館利用団体を交えた企画準備会または実行委員会により、事業の企画・立案、運営方法等を検討する。 ②生涯学習情報紙及び公民館だより、チラシ等を活用して参加者を募集する。 ③事業終了後は、学習の記録や参加者の意見・感想等をまとめ、次年度の検討材料とする。		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	「満足」及び「ある程度満足」と回答を得た件数	R4目標	R4実績			R5目標値が未達成の理由・分析			
			期間	S46 ~		0.85人	0.6人	①25事業	98.0%	98.7%			98.0%		93.0%	
						6,802千円	0.6人	②115件	98.0%	98.7%			98.0%		93.0%	
						R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	③107件	98.0%	98.7%			98.0%		93.0%	
						0.80人	1.1人									
		6,465千円	1.1人													

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	
						R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	R4目標	R4実績					R5目標値が未達成の理由・分析
154	市民部	柳瀬まちづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	施設、設備の修繕工事のため、施設提供については、利用者に配慮し、最小限の制限で実施できた。施設の老朽化により、施設を安定的に提供するためには、計画的に適切な修繕とともに、緊急を要する修繕にも速やかに対応することで、学習の場を確保し、安全に施設提供することに市民サービス向上に繋げる。	R5年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを		
			-	自治事務	22,133千円	25,158千円	①年間利用可能区分数(公民館)	年間施設稼働率(公民館)	前年度実績をもとに、集団による各種学習の場として適切な施設提供を行い、より多くの地域住民が学習の場として利用できるよう、目標を設定する。	R5年度に改善した点						
			根拠法令	社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例、所沢市立公民館設置及び管理条例施行規則	R5予算現額	R5決算額(見込み)	②年間利用区分数(公民館)			R5目標値が未達成の理由・分析			ホールのワイヤレス設備更新、1階及び2階のLED照明への交換、料理講習室の換気設備の更新、及びガスオーブンの交換、和室の畳替えのほか、安全性、利便性の向上を目的に、施設修繕を多く実施した。			
			事業の目的及び具体的な内容	市民・公民館利用団体等による各種学習の場として、施設を提供することによって、住民の知識・教養の向上を図り、生涯学習の構築を目指す。	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	③年間利用区分数(地区体育館)			R4実績			R5実績			
			期間	S46 ~	0.35人	1.2人	実績	36.0%	30.8%	団体登録数は前年度から少し増加となっているものの、公民館及び地区体育館の利用人数は増加がみられない状況から稼働率が達成できなかった。			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み			
					2,801千円	1.6人	①13,919区分	R5目標	R5実績				どのように貢献したか			
					0.35人	1.6人	②4,658区分	R6目標	R6実績				空調設備の改修工事や施設修繕を実施し快適に利用できる施設として貢献した。			
				2,828千円	1.6人	③3,163区分	50.0%		センター長 荒井 直樹	確保が必須となる。						
154	市民部	三ヶ島まちづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	参加者から高い満足度を得られているが、さらにより良いものとするべく、利用者の要望に寄り添い、地域住民が一体となった事業運営に努めていく。	R5年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに		
			重要	自治事務	4,846千円	4,159千円	①事業実施数	参加者の満足度	実施事業に対する参加者の満足度の向上を図る	R5年度に改善した点						
			根拠法令	社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例、所沢市立公民館設置及び管理規則	R5予算現額	R5決算額(見込み)	②アンケート実施件数			R4目標			R4実績		R5目標値が未達成の理由・分析	地域の活性化を図るため、講師や出演者等とも綿密に打ち合わせを行い、地域の特徴を取り入れた事業内容を実施した。
			事業の目的及び具体的な内容	市民の学習要望に基づき、地域特徴等を生かした主催事業を開催し、地域住民の生活・文化・芸術・社会福祉等の向上及び推進を図る。①職員による事業の企画・立案あるいは市民を交えた企画準備会等により、事業の企画・立案・運営を行う。②事業終了後の学習の記録や参加者の意見、感想等は次年度講座の参考とする。③生涯学習情報紙及び公民館だより・チラシ等を活用して参加者を募集する。④各団体や公共施設からの情報を提供する。	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	③満足およびある程度満足との回答を得た件数			R4実績			R5実績		事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	
			期間	S30 ~	0.85人	1.95人	実績	100.0%	99.0%	事業の実施内容等についてはいずれも高い満足度を得られるものであった。			どのように貢献したか			
					6,802千円	1.95人	①29事業	R5目標	R5実績				三ヶ島地区内に所在する学校と協働での事業や、地域の特徴を取り入れた事業を実施することで、地域住民の関心を引き、満足度の高い事業運営に努め、地域の活性化に貢献した。			
					0.85人	1.95人	②1006件	R6目標	R6実績				地域住民の参加による地域の人材育成や地域課題解決に向けた事業を企画・立案し実施する。			
				6,869千円	1.95人	③992件	100.0%		三ヶ島まちづくりセンター長 村中 慎児							
154	市民部	三ヶ島まちづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	稼働率については部屋の特性から調理や工作などに活動内容が限定される部屋があり、稼働率の低下に影響を及ぼしている点もあるが、昨年と比較するとわずかながら稼働率の上昇が見られる。引き続き利用団体の活用を促進するとともに、公民館事業等で積極的に活用し、稼働率の向上に努めることとする。	R5年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに		
			-	自治事務	25,119千円	22,177千円	①年間利用可能区分数(公民館)	年間施設稼働率	施設の稼働率は集団による各種学習活動の場として、適切な場であるか否かの大きな成果指標となる。	R5年度に改善した点						
			根拠法令	社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例、所沢市立公民館設置及び管理規則	R5予算現額	R5決算額(見込み)	②年間利用区分数(公民館)			R4目標			R4実績		R5目標値が未達成の理由・分析	ホールの床修繕や学習室4号の雨漏り修繕に加えてイスの張替えを実施するなどし、利用者が快適に活動できるよう施設運営に努めた。
			事業の目的及び具体的な内容	サークル等による各種学習活動の場として、施設を提供することにより、住民の知識・教養の向上と会員相互の親睦を図る。①施設の点検管理と施設の提供・受入準備。②施設利用時の使用料及び鍵・備品等の対応。③利用者の公共施設予約システム入力の手続き補助。④作品発表等の場としての公民館ロビーの提供。	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	③年間利用区分数(体育館)			R4実績			R5実績		事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	
			期間	S48 ~	0.40人	2.05人	実績	80.0%	30.4%	新型コロナウイルス感染症の影響がきっかけとなり、サークル団体の判断による施設利用の自粛が長期化し、現時点においても活動の再開が見通しがついていない団体や、サークル団体の高齢化による解散等が稼働率の低下に影響した。また、学習室4号(工作室)と調理室は部屋の特性から利用団体が限定されていることや、飲食を伴う活動の制限などが稼働率の低下に影響している。			どのように貢献したか			
					3,201千円	2.05人	①13,642区分	R5目標	R5実績				利用制限の緩和や施設修繕を行い、利用しやすい施設運営に努めるとともに、稼働率の低い学習室については、公民館事業での活用を努め、利用促進を図っていく。			
					0.40人	2.05人	②4,247区分	R6目標	R6実績				三ヶ島まちづくりセンター長 村中 慎児			
				3,232千円	2.05人	③18,035区分	80.0%									

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)		
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目		
						R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠							
154	市民部	新所沢まちづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	公民館利用者との共催事業を通じ、フレッシュカレッジや夏フェスなど学習文化活動の体験会、交流会が定着している。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を			
			重要	自治事務	4,127千円	3,815千円	①年間事業数(回数) ②事業参加者数(延べ人数)	参加者の満足度割合 (「満足度」及び「ある程度満足」の回答を得た件数×100)	全ての講座で参加者の満足度を上げることを目標とする。				R5目標値が未達成の理由・分析	令和5年5月から新型コロナウイルス感染症が2類から5類に引き下げられ、人数制限等することなく参加者に喜ばれた。	4 質の高い教育をみんなに		
			根拠法令	自治事務	R5予算現額	R5決算額(見込み)								R4目標	R4実績	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	11 住み続けられるまちづくりを
			新所沢公民館主催事業	事業の目的及び具体的な内容	置及び管理条例・所沢市立公民館設置及び管理条例施行規則・所沢市地区体育館条例	4,240千円	3,846千円	実績	91.0%	95.0%			R5目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか		
					地域課題と市民の学習要求に基づき、教育の向上、健康の促進、生活文化の振興、社会福祉の増進を図るため、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を実施する。	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合							R5目標	R5実績	引き続き、各種講座等を実施し、学習機会の提供を図り、公民館利用者の拡充に努めていく。	地域住民の知識や教養を高められるよう、学習機会を提供した。
					0.82人	会年職員等 1.2人	91.0%							95.0%			
			期間	S47 ~	0.82人	会年職員等 1.2人	①198回	②10,369人	R6目標	91.0%			新所沢まちづくりセンター長 廣谷貴紀				
154	市民部	新所沢まちづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	比較的利用されているが、利用稼働率は目標達成には届いていないため、引き続き、地域団体の活動を支援していくべき施設の有効活用を努めていく。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を			
			-	自治事務	40,908千円	40,016千円	①公民館年間利用可能区分数 ②公民館年間利用区分数	年間施設稼働率(%)	年間延べ利用区分数÷年間利用可能区分数×100				R5目標値が未達成の理由・分析	施設の不具合箇所を修繕し、利用者が安全かつ快適に利用できるよう適切な施設運営を行った。	4 質の高い教育をみんなに		
			根拠法令	自治事務	R5予算現額	R5決算額(見込み)								R4目標	R4実績	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	11 住み続けられるまちづくりを
			新所沢公民館施設提供事業	事業の目的及び具体的な内容	社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例・同施行規則、所沢市地区体育館条例	39,769千円	39,149千円	実績	60.0%	51.8%			R5目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか		
					集団による各種学習文化活動の場を提供し、住民の学び合い・支え合い・学習成果の地域還元を促進し、地縁と知縁による地域コミュニティを豊かにすること。そのような活動をする公民館登録団体を育成すること。	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合							R5目標	R5実績	コロナで著しく減少した稼働率も年々その数字が戻ってきている。引き続き地域住民・団体の活動支援のため、施設の有効活用を進めたい。	自主的な学習活動により、地域の生活や福祉を広げる場となった。
					0.63人	会年職員等 2.2人	65.0%							53.0%			
			期間	S47 ~	0.63人	会年職員等 2.2人	①27,557区分	②14,597区分	R6目標	65.0%			新所沢まちづくりセンター長 廣谷貴紀				
154	市民部	新所沢東まちづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	事業に対する満足度が非常に良好であった。好評である事業については、継続することに意義があると同時に、多種多様な社会状況により、時宜を得た講座が求められ、公民館の役割は、益々重要な位置づけにあることがうかがえ、常に改善の意識をもって取り組んでいく必要がある。	R5年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに			
			重要	自治事務	2,094千円	1,725千円	①主催事業 ②事業参加者のアンケート回答件数 ③アンケートで「満足」及び「ある程度満足」と回答を得た件数	参加者の満足度の割合	「満足」及び「ある程度満足」と回答を得た件数÷アンケート回答件数×100				R5目標値が未達成の理由・分析	基本的な感染症対策を徹底しながら事業を実施した。アンケート結果、地域・公民館利用の方との情報交換及び地域の方からの事業提案等、様々な情報・意見を取り入れ、地域のニーズに合うような事業を展開した。地域の協力団体と新たに講座を解説し、地域の方から好評を得られている。	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み		
			根拠法令	自治事務	R5予算現額	R5決算額(見込み)								R4目標	R4実績	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか
			新所沢東公民館主催事業	事業の目的及び具体的な内容	社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例、所沢市立公民館設置及び管理条例施行規則、所沢市まちづくり条例及び施行規則	2,155千円	1,861千円	実績	100.0%	99.2%			R5目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか		
					【目的】市民の学習要求に基づき、教養の向上、健康の増進、生活文化の振興、社会福祉の増進を図るため、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を実施。 【内容】職員による事業の企画・立案あるいは市民を交えた企画準備会または実行委員会により、事業の企画・立案・運営方法を検討する。	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合							R5目標	R5実績	新規事業のアンケートの設問において「事業の内容がわかりやすかったか」と置き替えたため、前年度実績より若干低下したものの満足度としての目標は達成していると推察される。	比較的高い満足度を得られていることから、現状を維持しつつ、地域の実情を捉えた講座の充実を図る。感染症については、基本的な対策を引き続き講じていく。
					0.65人	会年職員等 0.8人	100.0%							94.8%			
			期間	S52 ~	0.65人	会年職員等 0.8人	①35事業 ②675件 ③640件	③640件	R6目標	100.0%			センター長 新井 浩巖				

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	
						R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠						
154	市民部	新所沢東まづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	全体の稼働率としては低い。比較的開いている曜日・時間帯の周知方法等の工夫が今後は必要である。また、令和5年度に昇降機設置工事を予定していたが、入札の応札がなく設置に至らなかった。このため、工事内容を見直し、令和6年度に再度予算計上を行った。地域の要望である昇降機の設置に取り組みとともに、利用者に気持ちよく使ってもらえる施設の管理を行った。	R5年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに		
			-	自治事務	28,437千円	16,520千円	①年間利用可能区分数(公民館)	年間施設稼働率(公民館)	年間のべ利用区分数÷年間利用可能区分数×100	R5目標			R5実績		R5年度に改善した点	
			根拠法令	R5予算現額	R5決算額(見込み)	②年間利用区分数(公民館)	R4目標									R4実績
			社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例、所沢市立公民館設置及び管理条例施行規則、所沢市まちづくり条例及び施行規則	28,693千円	16,096千円	①18,852区分		R5目標	R5実績	R5目標値が未達成の理由・分析			R5年度に改善した点			
			事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	②6,940区分	R6目標								R6実績	R6目標値が未達成の理由・分析
			【目的】 集団による各種学習活動の場として施設を提供することによって、住民の知識、教養の向上を図り、生涯学習の構築を目指す。 【内容】 平成18年10月から新公共施設予約システム稼働し、窓口以外に口ビエ端末機・インターネット・携帯電話による利用予約手続きができ、利用申し込みも24時間可能となっている。利用予約の際は、利用機会の拡大を図るため、一定の利用制限(時間制限)を設けている。	0.90人	会年職員等 2.2人	実績		80.0%	37.2%	感染症の関係で、利用者が自主的にサークル活動を自粛または活動内容を縮小したことが稼働率の低下に繋がっている。また、人気のある曜日・時間帯は利用希望団体が重なっている場合があり、稼働率が低くなっている要因の1つとなっている。			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み			
			期間	552 ~	7,202千円	会年職員等 2.2人	①18,852区分	80.0%	36.8%	評価者			センター長 新井 浩巖		どのように貢献したか	
		7,273千円	会年職員等 2.2人	②6,940区分	80.0%				比較的開いている曜日・時間帯を周知し、公民館利用に伴う教育の機会の提供を行った。							
154	市民部	所沢まづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	昨年度と比較して、「長期休業期間中の自習室(学習室の開放事業)」をはじめとして、6つの事業を増やすことができた。今後も幅広い世代に向けて、コミュニティを支援する拠点としての視点からも、事業の展開を考えていきたい。	R5年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに		
			重要	自治事務	2,546千円	2,207千円	①年間事業数	事業参加者の満足度(「満足」及び「ある程度満足」と回答を得た割合)	地域もしくはダイヤ市民の学習要求に基づき事業実施を目的としているため、事業参加者の満足度を指標とする。	R4目標			R4実績		R5目標値が未達成の理由・分析	R5年度に改善した点
			根拠法令	R5予算現額	R5決算額(見込み)	②アンケート回答件数	R4目標									
			社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例	3,136千円	2,804千円	③「満足」及び「ある程度満足」と回答を得た件数		R5目標	R5実績	R5目標値が未達成の理由・分析			R5年度に改善した点			
			事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	実績	80.0%								96.1%	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
			地域課題と市民の学習要求に基づき、教養の向上、健康の増進、生活文化の振興、社会福祉の増進を図るため、実生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を実施する。	0.35人	会年職員等 0.70人	①24事業	80.0%	93.6%	目標達成済							
			期間	S28 ~	2,801千円	会年職員等 0.80人	②424件	80.0%		評価者			所沢まづくりセンター長 金子 敦		どのように貢献したか	
		4,606千円	会年職員等 0.80人	③397件	80.0%				乳児から高齢者まで参加できる事業を展開実施して貢献した。							
154	市民部	所沢まづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	昨年度比でプラス0.4%となり、目標を達成することができた。開館から10年以上が経過して、施設の老朽化が顕著に表れ始めているが、限られた予算の中で必要な修繕を行いながら、住民の学びあい、さらには地域づくりの場として、施設の提供を行うことができた。	R5年度に改善した点	6 安全な水とトイレを世界中に		
			-	自治事務	73,354千円	72,740千円	①年間利用可能区分数	年間施設稼働率(年間利用区分数÷年間利用可能区分数×100)	施設提供を通じて、住民の学びあい、さらには地域づくりの場を目指すため、施設稼働率を指標とする。	R4目標			R4実績		R5目標値が未達成の理由・分析	R5年度に改善した点
			根拠法令	R5予算現額	R5決算額(見込み)	②年間利用区分数	R4目標									
			社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例	72,480千円	71,613千円	実績		50.0%	49.7%	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み						
			事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	①29,761区分	50.0%	50.1%	目標達成済							
			集団による各種学習活動の場として施設を提供することにより、住民の学びあいを支援し、学習活動を通じた地域づくりの場を目指す。	0.45人	会年職員等 3.75人	②14,934区分	50.0%		評価者	所沢まづくりセンター長 金子 敦			どのように貢献したか			
			期間	S28 ~	3,601千円	会年職員等 3.30人	②14,934区分	50.0%							当センターは市内中央に位置し、アクセスも良く、駐車場もあることから、公用や地区外からの利用も多い。特に、ホールの催事については、NPO法人シアターサポの協力を得ながら運営しているところであるが、ホール担当の負担が大きくなってきている。第一には職員の増員を要望していくが、同時にやり方の工夫も模索していきたい。	
		0.67人	会年職員等 3.30人		50.0%				給水スポットの拠点にもなり、どなたでも安全な水を給水できる施設として貢献した。							





計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目
155	教育総務部	所沢図書館	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	R5年度、年間の来館者数について、目標値には達しなかったが、指定管理者制度移行後は、全館で祝休日開館が行われるなど、利用者にとってのサービスの向上が図られている。分館においては、偏ることなく、均一で良質なサービスを提供するために、本館職員が定期的に、年4回モニタリングを行っている。	R5年度に改善した点 ・指定管理者制度が第3期の2年目となり、充実した均一で質の高いサービスの提供を目指し、安定した運営が保たれるよう、調整・指導した。 ・第9期図書館電算システムの再構築により、電子書籍のサービスが開始するなど、新しいサービスを提供することで、利用者の利便性が向上した。	4. 質の高い教育をみんなに
			重要	自治事務		332,622千円	327,119千円								
			所沢図書館分館施設管理運営事業	根拠法令		R5予算現額	R5決算額(見込み)	②貸出数(分館のみ)	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析				
				図書館法、所沢市立所沢図書館設置条例、同施行規則、地方自治法		339,971千円	329,203千円								
				事業の目的及び具体的な内容		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	実績	R5目標	R5実績	新型コロナウイルス感染症対策を徹底していることが安心につながっていることや、医療に関する法律上の位置づけが5類感染症に変更されたことに伴い、来館者がR3年度と比較して増えたもののR4年度より減少した。貸出利用者数・貸出数ともに減少しているため、新型コロナウイルス感染症の影響で図書館から離れていた利用者の利用が完全には戻っていないことが原因で実績が目標値に達しなかったと考えられる。				
			・市民サービスの向上、指導管理の一元化、経費の節減を図る。7館すべての分館において祝日開館とし、平日、所沢分館は19時、新所沢分館は21時まで、狭山湖分館は木曜日19時までの開館により、利用者の利便性向上を図る。 ・地方自治法第244条に定める公の施設として、所沢市立所沢図書館設置条例及び同施行規則の規定に基づき、市立図書館としてのサービスの提供等を行う。図書館における管理運営業務、施設維持管理業務。	1.56人		0人	800,000人								
			期間	H24 ~		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	①347,670人	800,000人	684,356人					
		12,483千円	0人	②1,079,584点	R6目標										
		1.28人	0人		780,000人										
		10,344千円													
156	教育総務部	所沢図書館	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	指標となる児童資料貸出し数については、対象年齢層の人口減少や、児童生徒への端末の配布により、図書による調べ学習の機会が減ったことから、目標に達しなかったと推察する。子どもの読書活動の推進に当たり、引き続き、読みきかせやブックトークなどを通じて、子どもたちに読書を身近なものに感じてもらう、児童資料の貸出し数の増加に努めていきたい。今後も「第4次所沢市子どもの読書活動推進計画」を踏まえ、学校をはじめ、様々な関係部署と連携を密に図り、子どもの読書活動の推進に向けて努めていきたい。	R5年度に改善した点 「第3次所沢市子どもの読書活動推進計画」の総括をし、その課題を踏まえて「第4次所沢市子どもの読書活動推進計画」を策定した。	4. 質の高い教育をみんなに
			重要	自治事務		2,917千円	2,809千円								
			子どもの読書活動推進事業	根拠法令		R5予算現額	R5決算額(見込み)	②学校関連団体貸出数	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析				
				図書館法、所沢市立所沢図書館設置条例、同施行規則		2,941千円	2,892千円								
				事業の目的及び具体的な内容		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	実績	R5目標	R5実績	対象年齢層の人口減少により年間貸出数が減少したこと、その他、児童生徒に一人1台端末の配布により、学校での図書による調べ学習の比重が減ったことも原因の一つと考えられる。				
			子ども達が読書の楽しみを知り、自主的に読書活動を行うことができるよう、「第3次所沢市子どもの読書活動推進計画」に基づいて子ども向け事業、学校との連携事業等を実施し、利用の拡大を図る。①子どもの読書活動推進連絡会の開催②おはなし会・かがくあそび等子ども向け行事の開催③一般向け普及・啓発事業の開催④学校との連携事業の実施⑤小中学生・保護者に読書アンケートの実施⑥学校業務連絡便の運行のブックリスト「本がいっぱい」の発行、小中学校への配布⑦子ども向け広報紙の発行	1.41人		2.9人	489,000冊								
			期間	S39 ~		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	①12,174人	489,000冊	412,788冊					
		11,283千円	2.9人	②11,190冊	R6目標										
		1.51人	2.9人		472,000冊										
		12,202千円													
156	教育総務部	所沢図書館	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	成果指標である来館者数については、R4年度・R5年度ともに、目標に達していない。奉仕業務は、市民に対して適切な対応が求められる、図書館業務の基本業務である。選書から貸出しまで、職員の専門性を発揮し、業務を遂行する必要がある。殊にレファレンス業務は、経験や知識が求められるため、職員の人材育成を図る必要がある。現在、国立国会図書館レファレンス協同データベースへの掲載を積極的に進め、国立国会図書館より、一定の基準を満たし、評価(お礼状)を得ている。今後、更にレファレンス数を増やしながら、質の向上を目指していく。また、最近では、対面朗読などのハンディキャップサービスへの要望も増えているため、ボランティアの育成等、受け入れ体制の整備を進める必要がある。	R5年度に改善した点 ①調査・研究を目的とした図書館利用に対応するため、各種データベース情報のレファレンス・ツールの充実・活用を図った。②利用者への課題解決支援サービスの周知を図るため、図書館HPにおいてレファレンス事例を公開するとともに、国立国会図書館レファレンス協同データベースへ積極的に掲載した。③視覚に障害のある方へのサービス周知のため、「所沢市障害者福祉ガイド」に情報を掲載、館内でのポスター掲示やチラシ配布を行った。また、対面朗読奉仕者の募集・採用を行い、サービスの拡充を図った。	4. 質の高い教育をみんなに
			-	自治事務		50,579千円	49,100千円								
			館内奉仕事業	根拠法令		R5予算現額	R5決算額(見込み)	②予約受付件数(本館カウンターでの年間予約受付・取消件数)	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析				
				図書館法、所沢市立所沢図書館設置条例、同施行規則		60,524千円	49,296千円								
				事業の目的及び具体的な内容		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	実績	R5目標	R5実績	図書館の電算システム再構築事業のため、全館一斉に17日間の休館をしたこと、スマートフォンやパソコン等の普及により、簡単な情報や電子書籍等が手軽に入手できるようになり、図書館に来館して本を借りたり、調べものをする機会が少なくなったなどが要因であると考えられる。				
			市民の教養と文化の発展のため、資料及び情報を提供する。 ①図書(一般書、児童書、雑誌、紙芝居、絵本)を個人・団体に対し、閲覧・貸出利用に供する。②CD・DVDを個人に対し、貸出利用に供する。③図書館資料について充分な知識を持った職員が、問い合わせ・読書相談や利用のための相談に応じる。④視覚に障害のある方に対して対面朗読サービスや録音図書を提供する。	4.29人		20.35人	250,000人								
			期間	S39 ~		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	①274,999点	250,000人	186,592人					
		34,329千円	20.35人	②13,225点	R6目標										
		5.07人	20.35人	③280件											
		40,971千円			83,000人										



計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)		
					会計	投入コスト		活動実績(R5)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目		
						R4予算現額	R4決算額		項目名	指標名					目標設定の考え方・根拠	
161	危機管理室	危機管理室	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	①リーダー養成講座の開催数	リーダー養成講座の開催実績	自主防災組織の育成を図る観点の指標として、リーダー養成講座の開催実績を指標とした。	R5目標値が未達成の理由・分析	A	成果指標の目標値を達成しているため。	R5年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを	
			重要	自治事務		1,159千円	867千円									
			根拠法令	災害対策基本法、所沢市自主防災組織資機材交付要綱、所沢市自主防災会連合会交付金交付要綱		R5予算現額	R5決算額(見込み)							1,489千円		880千円
			事業の目的及び具体的な内容	事業の目的及び具体的な内容		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合							0.75人		0人
			期間	住民同士が自発的に自主防災組織を結成し、訓練や研修会等を実施する。本市は、新規に結成された組織に防災資機材を交付する。また、交付金により防災意識の普及啓発のためのリーダー養成講座等を開催し、自主防災活動を促進する。		会年職員等	0人							6,002千円		
			H7 ~			R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合							0.59人		0人
						会年職員等	0人							4,768千円		
161	危機管理室	危機管理室	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	①訓練実施回数	臨時災害FM放送局開設訓練実施実績	毎年訓練を実施することで、災害時迅速な開設が行えるようにするため、実施実績を指標とした。	R5目標値が未達成の理由・分析	A	計画通り、訓練実施回数を達成しているため	R5年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを	
			優先	自治事務		0千円	0千円									
			根拠法令	放送法 電波法		R5予算現額	R5決算額(見込み)							1,749千円		1,749千円
			事業の目的及び具体的な内容	事業の目的及び具体的な内容		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合							0.00人		0人
			期間	大規模災害発生時に住民への情報発信手段の一つとして、本市が保有する装置にて臨時かつ一時的にFM放送局を開設するもの。		会年職員等	0人							0千円		
			R5 ~			R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合							0.34人		0人
						会年職員等	0人							2,748千円		
161	危機管理室	危機管理室	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	①分団個別強化訓練実施回数(奇数年度) ②操法大会にかかる訓練参加延べ人数(偶数年度)	分団個別強化訓練及び操法大会にかかる訓練を実施することにより、消防団の資質向上、地域防災力の強化を図る。	R5目標値が未達成の理由・分析	A	成果指標の目標値を達成しているため。	R5年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを		
			-	自治事務		-	-									
			根拠法令	消防組織法、消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律、消防力の整備指針		R5予算現額	R5決算額(見込み)						-		-	
			事業の目的及び具体的な内容	事業の目的及び具体的な内容		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合						0.00人		0人	
			期間	関係法令を踏まえ、消防団の行う様々な訓練を災害対策訓練事業として包括的に実施することで、より一層消防団を中核とした地域防災力の充実強化を図ることを目的とする。		会年職員等	0人						0千円			
			H25 ~			R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合						0.00人		0人	
						会年職員等	0人						0千円			







計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)				
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目				
						R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	R4目標					R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析		
174	市民部	市民相談課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	①講座・講演会参加者 ②消費生活展来場者数 ③啓発品の配布数	消費生活講座・講演会開催回数(回)	講座・講演会を開催することにより、消費者被害の未然防止・拡大防止のための知識を深め、様々な消費者問題への対応力向上を図る。	R5目標値が未達成の理由・分析	A	講座に関しては、高齢者だけでなく在日外国人、家庭教育学級に対して実施するなど、消費者被害の未然防止の観点から幅広く実施することが出来た。啓発の場である消費生活展では、引き続き所沢警察署や市防犯対策室と連携して、消費者被害や特殊詐欺の未然防止に関する啓発活動ができた。	R5年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに				
			優先	自治事務		1,463千円	1,374千円									R5予算現額	R5決算額(見込み)	R4実績	R4実績
			根拠法令	消費者基本法、消費者安全法		1,463千円	1,390千円									R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	R5実績	R5実績
			事業の目的及び具体的な内容	日常生活を送る中で発生する、様々な消費者問題に対応できる消費者を育成することを目的とする。講座、消費生活展等を開催し、消費者が自ら考え、判断しうる能力を高めることにより、消費者被害を未然に防止する。		0.79人	0人									13回	13回	14回	10回
			期間	S47 ~		6,322千円	0人									14回	10回	14回	10回
			6,222千円	0人		14回	10回									14回	10回	14回	10回
			0.77人	0人		14回	10回									14回	10回	14回	10回
			6,222千円	0人		14回	10回									14回	10回	14回	10回
181	市民部	防犯交通安全課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	①参加人数 ②交通安全教室開催回数 ③高齢者・子供自転車免許制度に基づく講習回数	交通安全教室及び子供自転車免許制度に基づく講習回数	所沢市の交通事故の死傷者として、自転車の事故によるものが増加している。交通事故を減らすためには、幼児・小学生・高齢者を対象とした交通安全教室等の実施が必要である。コロナ禍により講習回数が減少した時期があり、回復傾向であることを考慮して目標を設定した。	R5目標値が未達成の理由・分析	B	交通安全教室はコロナ禍よりも実施回数が増加したが、コロナ禍では高齢者向けの交通安全教室が実施出来ず、その後も実施出来ないことから、高齢者を対象にした交通安全啓発が必要である。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を				
			重要	自治事務		59,338千円	50,083千円									R5予算現額	R5決算額(見込み)	R4目標	R4実績
			根拠法令	交通安全対策基本法		61,157千円	50,222千円									R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	R5目標	R5実績
			事業の目的及び具体的な内容	幼児、児童、生徒及び高齢者に対して交通安全教室等を実施することによって、交通事故を未然に防ぎ、減少させる。 ・保育園・幼稚園・小学校・中学校等で、交通安全教室等の実施及び小学校通学路の危険箇所等に交通指導員を配置し、立哨指導を行っている。 ・福祉施設での交通啓発活動を実施する。		1.15人	0人									130回	114回	130回	126回
			期間	S47 ~		9,202千円	0人									130回	114回	130回	126回
			9,051千円	0人		130回	114回									130回	126回	130回	126回
			1.12人	0人		130回	114回									130回	126回	130回	126回
			9,051千円	0人		130回	114回									130回	126回	130回	126回
181	市民部	防犯交通安全課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	①交通安全運動参加人数 ②交通事故発生(負傷者数) ③交通事故発生(死亡者数)	死傷者数の減少	前年より死傷者数を減少させること。	R5目標値が未達成の理由・分析	B	目標未達ながらも負傷者数は減少しているため、引き続き交通安全関係団体と連携を図りながら各季の交通安全運動に加え、市内の事故傾向に応じた交通事故防止の啓発活動していく。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を				
			重要	自治事務		3,542千円	3,494千円									R5予算現額	R5決算額(見込み)	R4目標	R4実績
			根拠法令	交通安全対策基本法 所沢市交通安全推進協議会規約		3,400千円	3,396千円									R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	R5目標	R5実績
			事業の目的及び具体的な内容	市民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付け、交通事故死傷者数を減少させる。 ・所沢市交通安全推進協議会加盟団体と協力し、交通安全パレードや街頭における交通安全啓発活動等を実施する。 ・市広報やホームページ等を利用した交通安全啓発活動を行う。		0.75人	0人									50人	48人	50人	30人
			期間	S39 ~		6,002千円	0人									50人	48人	50人	30人
			5,657千円	0人		50人	48人									50人	30人	50人	30人
			0.70人	0人		50人	48人									50人	30人	50人	30人
			5,657千円	0人		50人	48人									50人	30人	50人	30人



計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費		成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)		
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	
182	市民部	防犯交通安全課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		S	放置自転車指導員の活動により自転車放置台数は目標を大幅に下回っている。引き続き放置自転車減少に向け対策を講じていく。	R5年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを
			重要	自治事務		46,229千円	45,060千円	①年間撤去台数(自転車放置禁止区域、自転車放置指導整理区域、自転車駐車場長期放置)	自転車放置台数(11月の晴天の平日午前11時頃に自転車放置禁止区域に放置された自転車の数)	国土交通省が隔年で駅周辺における放置自転車等の実態調査(11月の晴天の平日午前11時頃に自転車放置禁止区域に放置された自転車の数を調査)を実施している。この調査における放置自転車を減らすことを目標としている。目標は実施計画における目標値を記載している。		撤去日数は維持しつつ撤去に当たるトラックの配車台数を減らした。放置自転車指導員の配置を見直し、放置自転車の少ない駅の配置時間を減らした。経年劣化した放置禁止区域である旨の標識を交換した。				
			根拠法令	所沢市自転車駐車場の整備及び自転車の放置の防止に関する条例		R5予算現額	R5決算額(見込み)	②年間撤去日数	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析	目標達成済				
			事業の目的及び具体的な内容	事業の目的及び具体的な内容		44,020千円	42,953千円	③年間撤去台数/年間撤去日数								
			期間	S50 ~		放置自転車禁止区域での立哨指導や放置自転車の撤去により、駅周辺の良好な生活環境を保持する。 ・駅周辺に放置自転車指導員を配置し、放置自転車防止の指導及び自転車駐車場への誘導を行う。 ・自転車放置禁止区域等の放置自転車の撤去を定期的に実施する。 ・自転車保管場所に移動した自転車の所有者について警察に照会し、はがきを送付して返還する。	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	実績	36台	7台					
						0.56人	会年職員等 1人	①630台	R5目標	R5実績						
							R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	②68日	36台	8台					
							4,481千円	会年職員等 1人	③9.3台	R6目標						
			R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		36台										
			0.61人	会年職員等 1人												
			4,929千円	会年職員等 1人												
183	建設部	道路維持課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		B	安全施設の要望は増加し、内容も多岐多様にわたり複雑化している。このため、対応に時間を要するものもある。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を 11 住み続けられるまちづくりを 16 平和と公正をすべての人に どのように貢献したか
			重要	自治事務		59,688千円	58,166千円	①道路反射鏡整備数(修繕・新設)	要望・通報に対する割合	交通事故の多い危険箇所に対し、通行の安全性を確保するための道路安全施設の設置及び適切な管理をすることが目的となっているため、要望・通報件数に対して処理した件数の割合を指標とする。		道路反射鏡の設置については、前年度に引き続き、優先順位を決めて対応した。道路区画線については、通学路に重点を置いて対応した。				
			根拠法令	道路法、道路構造令、道路交通法、所沢市道路の構造の技術的基準等を定める条例、所沢市移動円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例、交通安全対策基本法		R5予算現額	R5決算額(見込み)	②道路区画線等の路面標示	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析					
			事業の目的及び具体的な内容	事業の目的及び具体的な内容		79,063千円	78,149千円	③要望・通報件数								
			期間	S57 ~		交通事故の危険がある箇所について、通行の安全性を確保するため、道路反射鏡や道路区画線などを設置。さらに設置した交通安全施設を適切に管理する。	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	実績	100.0%	84.0%					
						2.43人	会年職員等 0人	①92箇所	R5目標	R5実績						
							R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	②22,836.8m	100.0%	84.2%					
							19,445千円	会年職員等 0人	③995件	R6目標						
			2.93人	会年職員等 1人		100.0%										
			23,677千円	会年職員等 1人												